

ツイート

いいね! 386

シェア

チェック

G+1

+ その他

出張先や旅行先のホテルでも
高速でWi-FiQRsetup エアステーション
11n/g/b 300Mbps 無線LAN親機

WMR-300シリーズ

ポータブル

QRsetup



AirStation™ n9b

QRsetup

高画質
画像へ

Windows® 10 対応

直販価格をチェック

※グッドデザイン賞はWMR-300、WMR-300-WHのみ受賞

取扱説明書 > Q&A > ドライバー/ファームウェア > ソフトウェア

外出先の有線LANをWi-Fi化

出張先や旅行先のホテルでも高速でWi-Fi



給電用USBケーブル型

持ち運び忘れやすい方も安心



Wi-Fi接続からインターネット回線設定まで

QRコードでお手軽インターネット初期設定

QRsetup

幅広いAOSS機器に対応

スマホ・ゲーム機・プリンターもワンタッチWi-Fi接続



AOSS™

光・ハイビジョンに最適

高速300Mbps (規格値) の無線LAN 11n準拠



無線LAN総合情報

[無線LANアクセスポイント](#)[無線LAN子機](#)[無線LAN中継機](#)[iPhone7は無制限で楽しもう](#)[iPhone6は無制限で楽しもう](#)[ネットワークカメラ](#)[無線LAN専用オプション](#)[ホントはもっとつながるWi-Fi](#)[無線プリントサーバー](#)[管理者機能搭載アクセスポイント\(法人様向け\)](#)[IEEE802.1X認証対応クライアント\(法人様向け\)](#)[無線LAN専用オプション \(法人様向け\)](#)[Smart ExRate特集](#)[Wi-Fiガイド](#)

ピックアップ

Wi-Fiでスマホのインターネット
がスピードアップ! インターネット
を超高速・快適に通信プレイやソフトのダウンロード、
迫力の3D映像コンテンツを
楽しもうAndroidスマートフォンを
ワンタッチWi-Fi接続
AOSS™ for Android

カテゴリー一覧

[メモリー](#)[USBメモリー](#)[SSD\(シリコンディスク\)](#)[メモリーカード](#)[HDD\(ハードディスク\)](#)

その他の特長

BD/DVD/MO/FDドライブ

無線LAN

有線LAN

映像・音響機器

増設インターフェース

仕様

対応OS	パソコン						スマートフォン・タブレット		
	Windows						Mac OS X	Android	iOS
	10	8.1※1 (64/32 ビット)	8/7 (64/32 ビット)	Vista (64/32 ビット)	XP (SP3)	10.8 10.7 10.6 10.5	2.1以降 ※2	5以降 ※2	
	本体	○	○	○	○	○	○	○	
	○：対応、△：対応予定、×：非対応、－：未確認 ※1：Windows 8.1でご利用になる場合は、 こちら をご覧ください。 ※2：標準搭載のWebブラウザーを使った初期設定（インターネット接続設定）のみの対応となります。本製品の詳細設定には対応しておりません。								
制限事項	※以下の無線LAN子機との組み合わせでのご利用は対応しておりません。 WLI2-CB-B11 WLI-U2-KG54L WLI-U2-KG54LT WLI-U2-KAMG54 WLI-U2-AMG54HP ※Softbank製（X01HT）、〈X02HT〉との組み合わせでのご利用は対応しておりません。 ※PPPoE機能を搭載していないため、PPPoEによるユーザー認証が必要なプロバイダーをお使いの場合、ルーターとしてはご利用いただけません。								
無線LAN インターフェース部	準拠規格	IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b							
	伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS方式)、直交波周波数分割多重変調(OFDM方式)、単信(半二重)							
	周波数範囲 (チャンネル)	2,412～2,472MHz(1～13ch)							
	データ転送速度 (規格値)	最大300Mbps（IEEE802.11n）、最大54Mbps（IEEE802.11g）、最大11Mbps（IEEE802.11b）							
	セキュリティ	WPA2-PSK（AES）、WPA-PSK（AES）、WPA/WPA2 mixed PSK（AES）、WEP（128/64bit）、Any接続拒否、プライバシーセパレーター							
	アンテナ	2本：2本送信、2本受信							
	有線 LAN:INTERNET	規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)、IEEE802.3準拠(10BASE-T)						
対応プロトコル		TCP/IP							
伝送路符号化方式		4B5B/MLT-3(100BASE-TX)、マンチェスターコーディング(10BASE-T)							
伝送速度		10M / 100Mbps(オートセンス)							
アクセス方式		CSMA/CD							
WAN部IP取得方法		手動 / DHCP							
端子数		1(AUTO-MDIX対応)							
端子形状		RJ-45型4極							
セキュリティ		ステートフルパケットインスペクション(SPI)、パケットフィルタリング、VPNマルチパススルー(PPTP)							
電源	USBバスパワー								
最大消費電力	2.5W								
外形寸法（幅×高さ×奥行）※本体のみ(突起部除く)	58×58×20mm（本体のみ）								

無線LAN親機

WMR-300

エアステーション設定ガイド

buffalo.jp

35013139-02

Contents

Chapter 1 - はじめに 6

操作方法について 6

電波に関する注意 6

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意 ... 7

動作環境..... 8

各種ソフトウェアのご紹介 9

 エアステーション設定ツール(Windows/Mac OS用) 9

 AirStation倍速設定ツール(Windows専用) 10

Chapter 2 - 本製品の設定画面..... 11

設定画面とは 11

エアステーション設定ツールのインストール 12

設定画面を表示する 12

 Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合 12

 Mac OSをお使いの場合 15

メニュー構成(ルーターモード時) 17

メニュー構成(ブリッジモード時) 19

Internet/LAN (LAN設定) 20

 Internet 20

 LAN 21

 DHCPリース 22

 アドレス変換 22

 経路情報..... 23

無線設定.....	24
WPS.....	24
AOSS	25
基本	28
拡張	30
WMM	31
ゲストポート	33
セキュリティ	34
ファイアウォール	34
VPNパススルー	35
ゲーム&アプリ	36
ポート変換	36
DMZ	37
UPnP	37
管理設定.....	38
本体	38
パスワード	38
時刻	39
NTP	39
アクセス.....	40
ログ	41
保存/復元	41
初期化/再起動	42
ファーム更新	42
ステータス	43
システム.....	43
ログ	44

通信パケット	45
クライアントモニター	45
診断	46

Chapter 3 - 本製品の各種設定.....47

来客者向け無線設定を行う(ゲストポート設定)	47
来客者がかんたんに接続できるように設定する場合	47
高度な設定を行う場合	48
AOSS接続で設定された内容を確認する	49
AOSS接続を解除する	51
倍速モードで無線通信する	52
無線チャンネルを変更する	54
他の無線機器から本製品を検索できなくする(ANY接続拒否設定)	56
無線機器同士の通信を禁止する(プライバシーセパレーター)	57
ブロードバンド映像サービスの利用設定をする	58
ポートを開放する	59
ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ 利用するポート番号が分かっている場合	59
利用するポート番号が不明な場合	61
本製品のIPアドレスを変更する	62
Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合	62
Mac OSをお使いの場合	66
ルーター機能を停止する	69
本製品のファームウェアバージョンを確認する	70

Chapter 4 - 各種ソフトウェアの使いかた	71
エアステーション設定ツールの使いかた	71
AirStation倍速設定ツールの使いかた	71
 Chapter 5 - 困ったときは	 74
インターネットにつながらない	74
前面のPOWER/DIAGランプが周期的に赤色に点滅している	74
無線接続が切れる/不安定	75
無線でつながらない	75
設定画面が表示できない	76
無線での通信が遅い	77
設定を出荷時の状態に戻したい	77
 Chapter 6 付録	 78
製品仕様	78
WMR-300	78
端子仕様	80
初期設定一覧	81
版權・免責事項	84

Chapter 1 - はじめに

操作方法について

本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと
- IEEE802.11aのW52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
- IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。

電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）
- IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 構内無線局（免許を要する無線局）
 - 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
 - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4 GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- ・ 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・ コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティーに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティーの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、「BUFFALOサポートセンター」までお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）

「無線LANのセキュリティーに関するガイドライン」より

動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

対応機器・対応OS

<無線親機本体との無線接続>

無線LAN機能に対応したパソコン、Mac、スマートフォン、タブレット端末、ゲーム機など

<無線親機の設定変更>

Internet Explorer 7.0以降を搭載したWindows 8^{※1}/7^{※1}/Vista^{※1}/XP^{※2}パソコン、
Safari 3.0以降を搭載したMac OS (10.5/10.6/10.7/10.8)、
iOS 3以降のiPod touch^{※3} / iPhone^{※3} / iPad^{※3}、
Android 2.1以降のスマートフォン^{※3}、タブレット端末^{※3}

※1 64ビットと32ビットに対応しています。

※2 32ビット、かつサービスパック3に対応しています。

※3 標準搭載のWebブラウザを使った初期設定(インターネット接続設定)のみの対応となります。
本製品の詳細設定には対応しておりません。

<エアステーション設定ツール(当社ホームページよりダウンロード)>

Windows 8(64ビット/32ビット)、Windows 7(64ビット/32ビット)、
Windows Vista(64ビット/32ビット)、Windows XP(32ビット)、
Mac OS(10.4/10.5/10.6/10.7/10.8)

<AirStation倍速設定ツール(当社ホームページよりダウンロード)>

Windows 8(64ビット/32ビット)、Windows 7(64ビット/32ビット)、
Windows Vista(64ビット/32ビット)、Windows XP(32ビット)

各種ソフトウェアのご紹介

エアステーション設定ツール(Windows/Mac OS用)

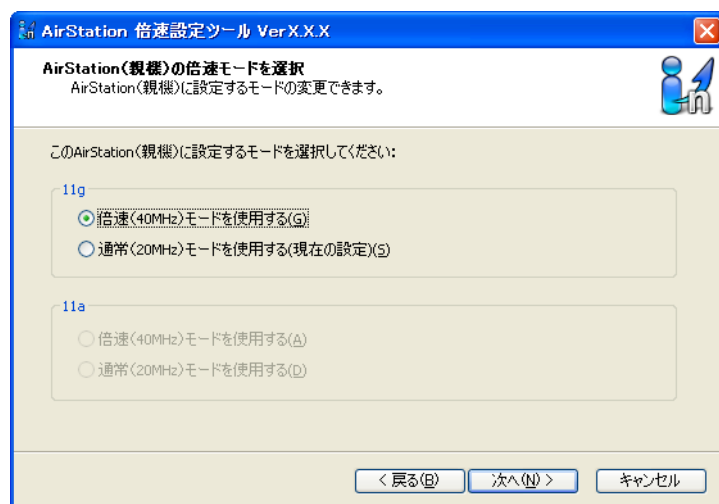
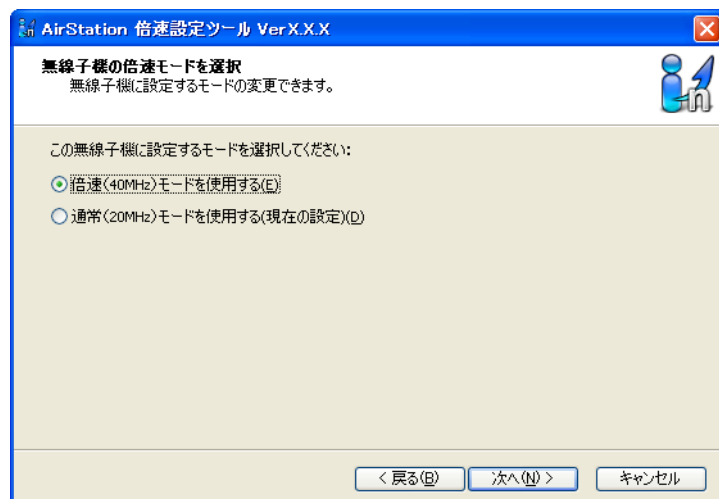
エアステーション設定ツールは、本製品の設定画面をかんたんに表示するためのソフトウェアです。本製品とパソコンを接続して、エアステーション設定ツールを実行すると、本製品の設定画面を表示したり、本製品のIPアドレスを変更することができます。



Note: 本書の手順で各種設定を行うには、エアステーション設定ツールが必要となります。

AirStation倍速設定ツール(Windows専用)

本製品や無線子機の倍速モードの有効/無効をかんたんに切り替えることができるソフトウェアです。本製品に対しては、本製品の設定画面を表示することなく倍速モードの有効/無効を切り替えられます。



Chapter 2 - 本製品の設定画面

本章では、本製品の設定画面について説明します。

設定画面とは

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。



パラメーター	内容
Internet/LAN	Internetポート/LANポートに関する設定画面を表示します。
無線設定	クリックすると、無線LANに関する設定画面を表示します。
セキュリティ	クリックすると、セキュリティに関する設定画面を表示します。
ゲーム&アプリ	クリックすると、ゲームやアプリケーションで使用する場合の設定画面を表示します。
管理設定	クリックすると、本製品の管理に関する設定画面を表示します。
ステータス	クリックすると、本製品のステータス情報を表示します。
かんたん設定	インターネット接続設定や無線LANに関する設定などの本製品に関する設定をかんたんに行うことができます。
動作モード情報	現在の動作モードが表示されます。
Internet情報	現在のInternet側の接続先情報が表示されます。
無線情報	本製品のSSIDや暗号化方式などが表示されます。

エアステーション設定ツールのインストール

以降の手順を行う前に、当社ホームページより「エアステーション設定ツール」をダウンロードしてください。
Windowsをお使いの場合は、事前にインストールを行っておいてください。

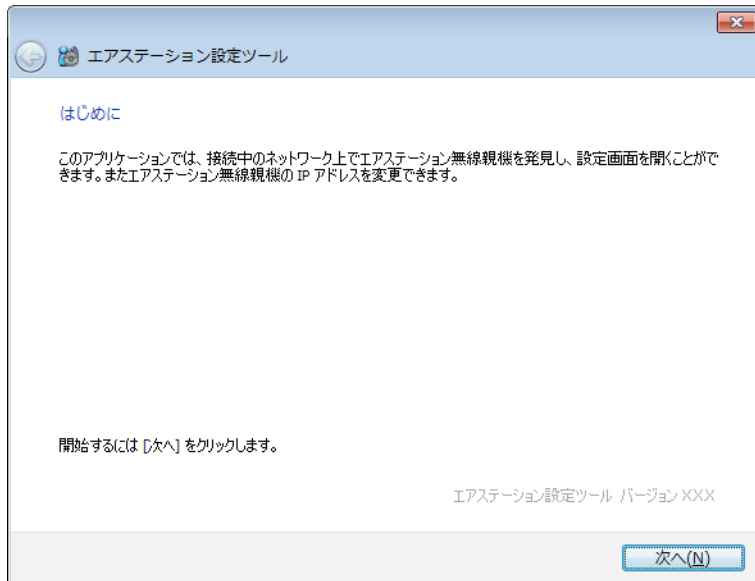
Note: 最新版のエアステーション設定ツールは、以下のホームページより入手できます。

WMR-300 : <http://d.buffalo.jp/wmr-300/>

設定画面を表示する

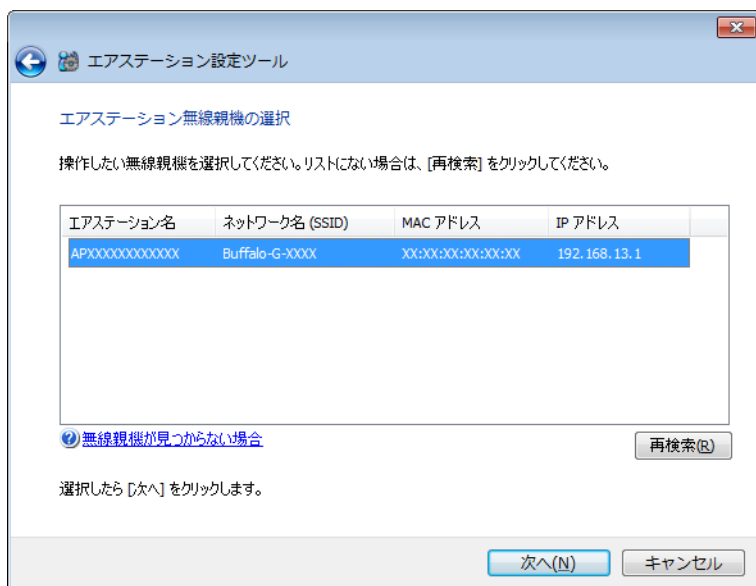
Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合

- 1 エアステーション設定ツールを起動します。
(Windows 8の場合は、「スタート」画面にある[エアステーション設定ツール]を選択します。
Windows 7/Vista/XPの場合は、[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[BUFFALO]ー[エアステーションユーティリティ]ー[エアステーション設定ツール]を選択します)
- 2 [次へ]をクリックします。



Note: パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

- 3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。



Note: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

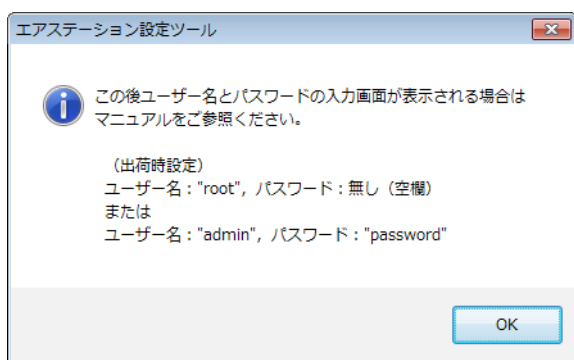
- 4 [設定画面を開く]をクリックします。



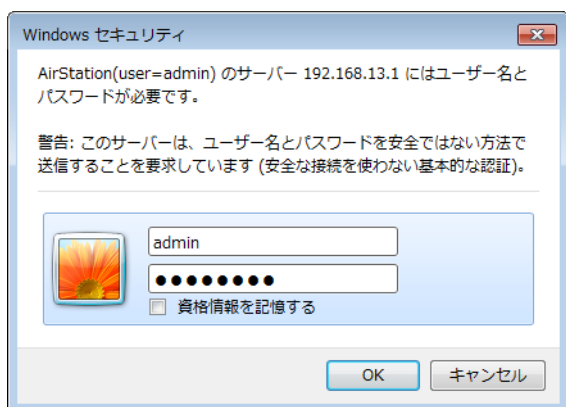
Note: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「このパソコンのIPアドレス設定」という画面が表示されます。

その場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」を選択して[次へ]をクリックしてください。しばらくすると、本製品に新しいIPアドレスが設定され、手順6の画面が表示されます。

5 [OK]をクリックします。



6 ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、[OK]をクリックします。
(パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)



7 本製品の設定画面が表示されます。

Note: 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。
[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

Mac OSをお使いの場合

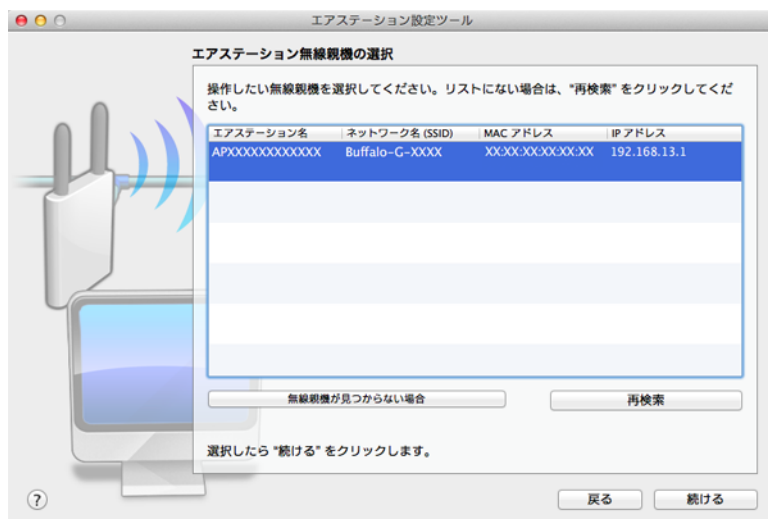
ここでは、Mac OS 10.8の場合を例に説明します。

1 エアステーション設定ツールを実行します。

2 [続ける]をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。



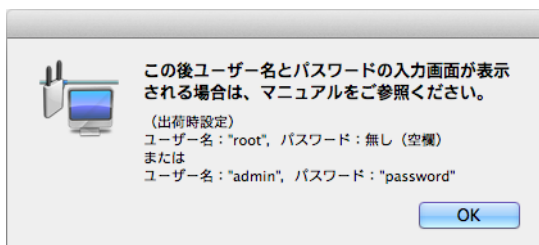
Note: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [設定画面を開く]をクリックします。

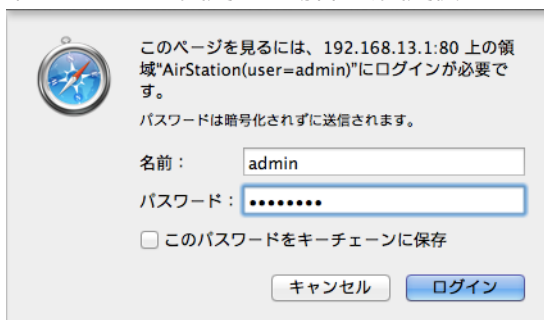


Note: 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「このMacのIPアドレス設定」という画面が表示されます。その場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」を選択して[次へ]をクリックしてください。しばらくすると、本製品に新しいIPアドレスが設定され、手順6の画面が表示されます。画面の指示に従ってIPアドレスを設定してください。

5 [OK]をクリックします。



6 名前欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、[ログイン]をクリックします。
(パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)



7 本製品の設定画面が表示されます。

Note: 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[終了]をクリックして、画面を閉じてください。

メニュー構成(ルーターモード時)

メイン画面	説明
Internet/LAN	
インターネット	Internet側ポートの設定を行う画面です。
LAN	LAN側ポートの設定を行う画面です。
DHCPリース	DHCPリースに関する設定画面です。
アドレス変換	Internet側をインターネットに接続するとき使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。
経路情報	本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。
無線設定	
WPS	WPSの詳細な設定や状況を確認する画面です。
AOSS	AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。
基本	無線の基本的な設定を行う画面です。
拡張	無線の拡張設定を行う画面です。
WMM	本製品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。
ゲストポート	来客用の無線接続ポート(ゲストポート)の設定を行う画面です。
セキュリティ	
ファイアウォール	本製品のファイアウォール機能を設定する画面です。
VPNパススルー	IPv6パススルー、PPPoEパススルー、PPTPパススルーに関する設定を行う画面です。
ゲーム&アプリ	
ポート変換	ポート変換に関する設定を行う画面です。
DMZ	LAN側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。
UPnP	UPnP(Universal Plug and Play)に関する設定を行う画面です。
管理設定	
本体	本製品の名称を設定する画面です。
パスワード	本製品の設定画面にログインするためのパスワードを変更する画面です。
時刻	本製品の内部時計を設定する画面です。
NTP	本製品の内部時計をNTPサーバーと同期するための設定を行う画面です。
アクセス	本製品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。
ログ	syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。
保存/復元	本製品の設定を保存したり、設定ファイルからの設定を復元する画面です。
初期化/再起動	本製品を初期化したり、再起動するための画面です。
ファーム更新	本製品のファームウェアを更新するための画面です。
ステータス	
システム	本製品のシステム情報を確認する画面です。
ログ	本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。
通信パケット	本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。
クライアントモニター	本製品と通信している機器を確認する画面です。
診断	本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。
ログアウト	

クリックすると本製品の設定画面からログアウトします。

マニュアル/アプリ

クリックすると本製品に関するマニュアルやソフトウェアのダウンロードページを表示します。

メニュー構成(ブリッジモード時)

メイン画面	説明
LAN設定	
LAN	LAN側ポートの設定を行う画面です。
経路情報	本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。
無線設定	
WPS	WPSの詳細な設定や状況を確認する画面です。
AOSS	AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。
基本	無線の基本的な設定を行う画面です。
拡張	無線の拡張設定を行う画面です。
WMM	本製品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。
ゲストポート	来客用の無線接続ポート(ゲストポート)の設定を行う画面です。
管理設定	
本体	本製品の名称を設定する画面です。
パスワード	本製品の設定画面にログインするためのパスワードを変更する画面です。
時刻	本製品の内部時計を設定する画面です。
NTP	本製品の内部時計をNTPサーバーと同期するための設定を行う画面です。
アクセス	本製品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。
ログ	syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。
保存/復元	本製品の設定を保存したり、設定ファイルからの設定を復元する画面です。
初期化/再起動	本製品を初期化したり、再起動するための画面です。
ファーム更新	本製品のファームウェアを更新するための画面です。
ステータス	
システム	本製品のシステム情報を確認する画面です。
ログ	本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。
通信パケット	本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。
クライアントモニター	本製品と通信している機器を確認する画面です。
診断	本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。
ログアウト	
クリックすると本製品の設定画面からログアウトします。	
マニュアル/アプリ	
クリックすると本製品に関するマニュアルやソフトウェアのダウンロードページを表示します。	

Internet/LAN (LAN設定)

Internet

Internet側ポートの設定を行う画面です。

---> Internet/LAN – インターネット（ルーター動作時のみ）

IPアドレス取得方法	☒ DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得
	☐ 手動設定
	IPアドレス サブネットマスク 255.255.255.0

[拡張設定]

デフォルトゲートウェイ	
DNS(ネーム)サーバーアドレス	プライマリー: セカンダリー:
Internet側MACアドレス	☒ デフォルトのMACアドレスを使用(XX:XX:XX:XX:XX:XX) ☐ 手動設定
Internet側MTU値	1500 バイト

設定

パラメーター	内容
IPアドレス取得方法	Internet側のIPアドレスの取得方法を指定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。
Internet側MACアドレス	Internet側インターフェースのMACアドレスを設定します。 Note: 不適切なMACアドレスを設定すると、本製品だけでなく、ネットワーク上の他の機器も使用できなくなります。この設定は、お客様の責任において行ってください。
Internet側MTU値	Internet側インターフェース (Internetポート) で通信を行うときに使用するMTUを578～1500バイトの範囲で設定します。

LAN

LAN側ポートの設定を行う画面です。

---> Internet/LAN — LAN (ルーター動作時)

---> LAN設定 — LAN (ブリッジ動作時)

LAN側IPアドレス	IPアドレス	192.168.13.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー機能	☒ 使用する	
割り当てIPアドレス	192.168.13.2 から 64 台	
	除外アドレス:	

DHCPサーバー設定 [拡張設定]

[拡張設定] ☒ 表示する

リース期間	48 時間
デフォルトゲートウェイの通知	☒ エアステーションのLAN側IPアドレス (192.168.13.1) ☐ 指定したIPアドレス ☐ 通知しない
DNSサーバーの通知	☒ エアステーションのLAN側IPアドレス (192.168.13.1) ☐ 指定したIPアドレス プライマリー: セカンダリー: ☐ 通知しない
WINSサーバー	☒ 取得済みのWINSサーバーアドレス (なし) ☐ 指定したIPアドレス ☐ 通知しない
ドメイン名	☒ 取得済みのドメイン名 (localdomain) ☐ 指定したドメイン名 ☐ 通知しない

設定

パラメーター	内容
LAN側IPアドレス	LAN側IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー (IPアドレス自動割り当て)機能を使用するかどうかを設定します。
割り当てIPアドレス	DHCPサーバー機能で割り当てるIPアドレスの範囲とその範囲から除外するIPアドレスを設定します。
拡張設定	「表示する」を選択すると、DHCPサーバーの拡張設定項目が表示されます。
リース期間	DHCPサーバー機能で割り当てたIPアドレスの有効期間を設定します。
デフォルトゲートウェイの通知	DHCPサーバー機能で通知するデフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するDNSサーバーのIPアドレスを設定します。
WINSサーバー	DHCPサーバー機能で通知するWINSサーバーのIPアドレスを設定します。
ドメイン名	DHCPサーバー機能で通知するドメイン名を設定します。

DHCPリース

DHCPリースに関する設定を行う画面です。

---> Internet/LAN — DHCPリース（ルーター動作時のみ）

リース情報の新規追加

IPアドレス	
MACアドレス	
新規追加	

リース情報

IPアドレス	MACアドレス	リース期間	状態	操作
192.168.13.2	XX:XX:XX:XX:XX:XX	47:56:38	自動割当	手動割当に変更
(*)192.168.13.3	XX:XX:XX:XX:XX:XX	47:57:00	自動割当	手動割当に変更

(*) WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス(192.168.13.3)

パラメーター	内容
IPアドレス	手動リースするIPアドレスを入力します。本製品のLANポートのネットワークアドレスに含まれないIPアドレスを設定することはできません。
MACアドレス	パソコンを識別するMACアドレスを入力します。
リース情報	現在のリース情報が表示されます。 自動リースされたIPアドレスは、[手動割当に変更]をクリックすると、手動リースに変更することができます。

アドレス変換

Internet側をインターネットに接続するとき使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。

---> Internet/LAN — アドレス変換（ルーター動作時のみ）

アドレス変換	☒ 使用する
破棄パケットのログ出力	☐ 使用する
設定	

パラメーター	内容
アドレス変換	アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。
破棄パケットのログ出力	アドレス変換時のエラーなどにより破棄されたパケットについてログを出力するかどうかを設定します。

経路情報

本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。

---> Internet/LAN － 経路情報（ルーター動作時）

---> LAN設定 － 経路情報（ブリッジ動作時）

経路の新規追加

宛先アドレス	IPアドレス	
	サブネットマスク	255.255.255.0 ▼
ゲートウェイ		
メトリック	15	
新規追加		

経路情報

宛先アドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	操作
経路情報はありません				

パラメーター	内容
宛先アドレス	ルーティングテーブルに追加する宛先IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイのアドレスを設定します。
メトリック	ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越えるルーター数)を設定します。
経路情報	手動で追加したルーティングテーブルを確認することができます。

無線設定

WPS

WPSの詳細な設定や状況を確認する画面です。

---> 無線設定 — WPS

WPS	☒ 使用する
外部Registrar	☒ 使用する
設定	
エアステーションのPINコード	21271663 PIN生成
EnrolleeのPINコード	OK
WPS用無線セキュリティ設定	
WPSステータス	configured 解除
11n/g/b	SSID Buffalo-G-XXXX-1 セキュリティ WPA2-PSK AES 暗号鍵 XXXXXXXXXXXX

パラメーター	内容
WPS	WPS機能を使用するかどうかを設定します。
外部Registrar	WPS機能を使用する際に、外部Registrarからのconfigure要求を受け付けるかどうかを設定します。 AOSS接続を行うと、外部Registrarの要求を受け付けなくなります。
エアステーションのPINコード	本製品のPINコードが表示されます。[PIN生成]をクリックすると、新しいPINコードが生成されます。
EnrolleeのPINコード	無線機器のPINコードを入力して[OK]をクリックすると、本製品の内部Registrarが、そのPINコードを持つ無線機器からの接続要求を受け付ける状態になります。
WPS用無線セキュリティ設定	本製品のWPS状態と現在設定されているSSID、セキュリティ、暗号化キーが表示されます。

AOSS

AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。

---> 無線設定 — AOSS



AOSS動作設定

WEP専用SSIDの暗号化レベル	802.11n/g/b 停止
WEP専用SSID隔離	802.11n/g/b 未設定 ルーターモードOFF(アクセスポイントモード)で本機能を有効にした場合もWEPでの通信は隔離されます。IPアドレスの取得・インターネット通信も遮断されますので、ご注意ください。
本体側AOSSボタン	☒ 使用する

現在のセキュリティ情報 802.11n/g/b

対応暗号化方式	WPA/WPA2 mixedmode - PSK(AES) (現在使用中)
SSID	Buffalo-G-XXXX-1
暗号化キー	xxxxxxxxxxxx

対応暗号化方式	WEP128
SSID	Buffalo-G-XXXX-3
暗号化キー	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx (送信キー) xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

対応暗号化方式	WEP64
SSID	Buffalo-G-XXXX-4
暗号化キー	xxxxxxxxxx (送信キー) xxxxxxxxxx xxxxxxxxxx xxxxxxxxxx

ランダム KEYペース 元に戻す

設定

AOSS接続先情報

接続先情報	MACアドレス	対応暗号化方式	無線	接続設定
WLI-UC-AG300N	xxxxxxxxxxxx	WEP64/WEP128/WPA-PSK-TKIP/WPA-PSK-AES	802.11g/b	許可
EC使用機器/AOSS非対応機器	xxxxxxxxxxxx	---	802.11n/g/b	許可

AOSS接続先情報の編集

パラメーター	内容
	このボタンをクリックすると、AOSS接続を開始します。 (本体のAOSSボタンを押したときと同じ動作となります)
	このボタンをクリックすると、AOSS接続が解除されます。 (その際、SSIDや暗号化キーもAOSSを使用する前の値に戻ります)

パラメーター	内容
WEP専用SSIDの暗号化レベル	AOSSによって、無線LANのセキュリティーがWEPになる場合、WEP128にするのか、WEP64にするのかを選択します。「停止」を選択すると、AOSSによるWEP接続はできなくなります。 Note: 設定を変更すると、本製品と無線機器との接続がいったん切断されます。
WEP専用SSID隔離	設定を有効にすると、WEPで接続したネットワーク機器(ゲーム機など)は、インターネットにのみ接続可能となり、WPA(またはWPA2)でつながっている各機器とは通信できなくなります。
本体側AOSSボタン	「使用する」のチェックを外した場合は、本製品のAOSSボタンを押してもAOSS接続は実行されず、WPS接続のみが実行されます
現在のセキュリティー情報	AOSS接続時に設定された暗号化レベルとセキュリティー情報の詳細が表示されます。 対応暗号化方式 AOSS接続時に設定された暗号化のレベルが表示されます。現在有効になっている暗号化レベルには、「現在使用中」と表示されます。 SSID AOSS接続時に設定されたSSIDが表示されます。 暗号化キー AOSS接続時に設定された暗号化キーが表示されます。 ランダム クリックすると、各種SSIDや暗号化キーの入力欄に16進数を用いてランダムな値が生成されます。 KEYベース クリックすると、各種SSID・暗号化キーの入力欄に本製品の無線設定初期値を元にした値が生成されます。 元に戻す クリックすると、各種SSID・暗号化キーの入力欄が修正前の状態に戻ります。

パラメーター	内容
AOSS接続先情報	本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器の情報が表示されます。 接続先情報 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器の名称が表示されます。 MACアドレス 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器のMACアドレスが表示されます。 対応暗号化方式 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器の対応可能な暗号化の種類が表示されます。 無線 現在、接続している無線方式が表示されます。 接続設定 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器に対して、現在接続を許可しているかどうかが表示されます。 AOSS接続先情報の編集 クリックするとAOSS接続先情報の編集画面(接続禁止/情報削除)が表示されます。

基本

無線の基本的な設定を行う画面です。

---> 無線設定 — 基本

無線チャンネル	自動 (現在のチャンネル: 10)
倍速モード	帯域: 20 MHz 拡張チャンネル: チャンネル 4
ANY接続	☒ 許可する
SSID1	☒ 使用する
隔離機能	☐ 使用する
SSID	☒ エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-G-XXXX) ☐ 値を入力:
無線の認証	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
無線の暗号化	AES
PSK(事前共有キー)	●●●●●●
SSID2	☒ 使用する
隔離機能	☐ 使用する
SSID	☒ エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-G-XXXX-1) ☐ 値を入力:
無線の認証	WPA2-PSK
無線の暗号化	AES
PSK(事前共有キー)	●●●●●●
SSID3:WEP	☐ 使用する
隔離機能	☐ 使用する
SSID	☒ エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-G-XXXX-3) ☐ 値を入力:
WEP暗号化キー設定	文字入力: 13文字(WEP128) ☒ 1: ☐ 2: ☐ 3: ☐ 4:
Key更新間隔	60 分

設定

パラメーター	内容
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。
倍速モード	無線通信で使用する20MHzの倍の帯域(40MHz)を使用して、高速無線通信を行うかどうかを設定します。倍速モードを使用する場合は、帯域を40MHzに設定し、拡張チャンネルを設定します。
ANY接続	チェックマークを外すと、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。
SSID1	本製品のメインSSIDです。 無線セキュリティに、WPA2-PSK-AES、WPA-PSK-AES、WPA/WPA2-Mixed、WEP、暗号化なしを選択することができます。

パラメーター	内容
SSID2	本製品のサブSSIDです。 無線セキュリティに、WPA2-PSK-AES、WPA-PSK-AES、WPA/WPA2-Mixed、WEP、暗号化なしを選択することができます。
SSID3	本製品のサブSSIDです。 無線セキュリティにWEPを選択することができます。
隔離機能	設定を有効にすると、接続している無線機器はインターネット側とだけ通信可能になります。
SSID	SSIDを半角英数字記号で32文字までで設定します。
無線の認証	無線機器との接続の際に使用する認証方式を以下から選択します。 認証を行わない 無線機器との接続の際に認証を行いません。 WPA-PSK 無線機器との接続の際にWPA (Wi-Fi Protected Access) に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA2-PSK 無線機器との接続の際にWPA2 (IEEE802.11i) に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA/WPA2 mixedmode-PSK 無線機器との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKのどちらの無線機器の認証も同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。
無線の暗号化	無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。 WEP WEP暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して無線LAN端末と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。 AES 暗号化の方式にAES (強固な次世代暗号化方式) を使用します。事前共有キーを使用して無線LAN端末と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。
PSK(事前共有キー)	無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字 (大文字/小文字の区別あり) を8～63文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f (大文字/小文字の区別なし) の64桁で入力します。
Key更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を0～1440分の範囲で設定します。
WEP暗号化キー設定	無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字 (大文字/小文字の区別あり) を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f (大文字/小文字の区別なし) の10桁または26桁で入力します。

拡張

無線の拡張設定を行う画面です。

---> 無線設定 — 拡張

Multicast Rate	1 Mbps ▾
DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	☐ 使用する

設定

パラメーター	内容
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。
DTIM Period	無線機器に通知するビーコン応答間隔 (1～10) の設定をします。無線機器のパワーマネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。
プライバシーセパレーター	無線機器間の通信を許可するかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、同一の無線親機に接続している無線機器同士の通信ができなくなります。 有線側からは、無線機器と通信できます。

WMM

本製品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。

---> 無線設定 — WMM

WMM-EDCAパラメーター

優先度	パラメーター	
AC_BK(低い)	AP用	STA用
	CWmin :	15 15
	CWmax :	1023 1023
	AIFSNI:	7 7
AC_BE(通常)	TXOP Limit:	0 0
	AP用	STA用
	CWmin :	15 15
	CWmax :	63 1023
AC_VI(優先)	AIFSNI:	3 3
	TXOP Limit:	0 0
	AP用	STA用
	CWmin :	7 7
AC_VO(最優先)	CWmax :	15 15
	AIFSNI:	1 2
	TXOP Limit:	94 94
	AP用	STA用
	CWmin :	3 3
	CWmax :	7 7
	AIFSNI:	1 2
	TXOP Limit:	47 47

設定

パラメーター	内容
WMM	本製品が行う通信で、特定の通信にのみ優先順位を付ける設定を行います。

パラメーター	内容
WMM-EDCA パラメーター	一般的な使い方では、この値を変更する必要はありません。出荷時設定のままお使いください。 優先度 優先度は、通信パケットごとに適用され、(Highest) 8 : (High) 4 : (Normal) 2 : (Low) 1 の割合で優先的に処理されます。 CWmin, CWmax コンテンション・ウィンドウの最大値・最小値です。コンテンション・ウィンドウはIEEE802.11で行うフレーム衝突回避機構で使用され、一般にウィンドウ内の値が小さくなるほど、そのキューが送信権を得る確率が高くなります。 AIFSN フレーム送信間隔です。単位はスロット(CWmin, CWmaxで定義されるウィンドウ値と同様)です。フレーム送信間隔が小さいほど、バックオフアルゴリズムの開始時間が早まるため、結果としてキューの優先度が高くなります。 TXOP Limit キューが送信権を得た場合に占有できる時間を示します。1単位は32msです。この時間が多いほど一度得た送信権でより多くのフレームを転送することができますが、反面キューのリアルタイム性を損なうこととなります。TXOP Limitを0に設定した場合は、1回の送信権で1つのフレームのみ送信できます。

ゲストポート

来客用の無線接続ポート(ゲストポート)の設定を行う画面です。

---> 無線設定 — ゲストポート

ゲストポート設定

ゲストポート機能	☐ 使用する
ゲストユーザー認証機能	☐ 使用する
ゲストポート用LAN側IPアドレス	☒ 自動設定 ☐ 手動設定

無線設定

11n/g/b	☐ 使用する
SSID	☒ エアステーションのMACアドレスを設定 (Guest-XXXX) ☐ 値を入力:
無線の認証	認証を行わない
無線の暗号化	暗号化なし

設定

ゲストユーザーの表示/操作

ユーザー名	接続MACアドレス	接続状態	操作
-------	-----------	------	----

ゲストユーザーの編集

現在の状態を表示

パラメーター	内容
ゲストポート機能	来客用にインターネット回線を提供するための「ゲストポート機能」の有効／無効を設定します。
ゲストユーザー認証機能	ゲストとして登録したユーザーだけが通信できるように認証を行うかどうかを設定します。
ゲストポート用LAN側IPアドレス	ゲストユーザーに提供するLAN側IPアドレスを設定します。手動設定の場合、[推奨値を設定する]をクリックすると、ゲストポート用LAN側IPアドレスの推奨値が入力されます。
ゲストポート用DHCPサーバー機能	ゲストユーザー用にDHCPサーバー (IPアドレス自動割り当て) 機能を使用するかどうかを設定します。
SSID	ゲストユーザー用のSSIDを半角英数字記号で32文字以内で設定します。
無線の認証	ゲストユーザーが接続の際に使用する認証方式を指定します。
無線の暗号化	ゲストユーザーが接続の際に使用する暗号化方式を指定します。
PSK(事前共有キー)	ゲストユーザーが接続の際に使用する事前共有キーを指定します。
ゲストユーザーの表示/操作	ゲストユーザーの編集を行うことができます。 ユーザー名 ゲストユーザーの認証に使用するユーザー名を半角記号64文字以内で登録します。 パスワード ゲストユーザーの認証に使用するパスワードを半角記号64文字以内で登録します。

セキュリティ

ファイアウォール

本製品のファイアウォール機能を設定する画面です。

---> セキュリティー - ファイアウォール（ルーター動作時のみ）

ログ出力 ☐ 使用する

使用する	簡易ルール	パケット数
☐	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する	0
☒	IDENTの要求を拒否する	0
☒	Internet側からのPINGにตอบสนองしない	0

設定

パラメーター	内容
ログ出力	ファイアウォール機能のログを出力するかどうかを設定します。
簡易ルール	簡易フィルタを使用するかどうかを設定します。 各フィルタの内容は以下の通りです。 NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する 有効にすると、Internet側からLAN側およびLAN側からInternet側へのMicrosoftネットワーク共有機能は使用できなくなります。 IDENTの要求を拒否する 有効にすると、Internet側からのIDENTの認証要求に対して拒否パケットを送ります。メール送信、ftp、ブラウザ等のネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。アドレス変換設定で、IDENTの要求をLAN側パソコンに転送する設定(DMZまたはTCPポート:113)になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。 Internet側からのPINGにตอบสนองしない 有効にすると、Internet側からのPINGにตอบสนองなくなります。

VPNパススルー

IPv6パススルー、PPTPパススルーに関する設定を行う画面です。

---> セキュリティー – VPNパススルー（ルーター動作時のみ）

フレッツIPv6サービス対応機能	☒ 使用する
PPTPパススルー	☒ 使用する

設定

パラメーター	内容
フレッツIPv6サービス対応機能	アドレス変換においてフレッツIPv6サービス対応機能を使用するかどうかを設定します。
PPTPパススルー	アドレス変換において、PPTPパススルー機能を使用するかどうかを設定します。

ポート変換

ポート変換に関する設定を行う画面です。

---> ゲーム&アプリ — ポート変換（ルーター動作時のみ）

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 ▼ 新規追加
Internet側IPアドレス	エアステーションのInternet側IPアドレス ▼ 手動設定:
プロトコル	☐ 全て ☐ ICMP ☐ 手動割当 ☒ TCP/UDP
	プロトコル番号: 任意のTCPポート ▼ 指定の仕方 任意のTCP/UDPポート:
LAN側IPアドレス	192.168.13.3
LAN側ポート	TCP/UDPポート

新規追加

ポート変換登録情報

グループ	Internet側IPアドレス LAN側IPアドレス	プロトコル LAN側ポート	操作
アドレス変換設定は登録されていません			

パラメーター	内容
グループ	登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択して新規グループ名を入力すると、新たなグループを作成します。英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。
Internet側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するInternet側(変換前)のIPアドレスを設定します。
プロトコル	ポート変換テーブルに追加するInternet側(変換前)のプロトコルを設定します。
LAN側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のIPアドレスを設定します。
LAN側ポート	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のポート番号(1~65535)を設定します。
ポート変換登録情報	現在設定されているポート変換テーブルの有効/無効の指定を行います。

DMZ

LAN側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。

---> ゲーム&アプリ – DMZ（ルーター動作時のみ）

DMZのアドレス

(*) WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス[192.168.13.3]

[設定](#)

パラメーター	内容
DMZのアドレス	ポート変換テーブルに設定されていないパケットの転送先IPアドレスを設定します。 (RIPプロトコル(UDPポート番号520)のパケットは、転送されません)

UPnP

UPnP(Universal Plug and Play)に関する設定を行う画面です。

---> ゲーム&アプリ – UPnP（ルーター動作時のみ）

UPnP ☒ 使用する

[設定](#)

パラメーター	内容
UPnP	Universal Plug and Play(UPnP)機能を使用するかどうかを設定します。

管理設定

本体

本製品の名称を設定する画面です。

---> 管理設定 — 本体

エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX
設定	

パラメーター	内容
エアステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。

パスワード

本製品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。

---> 管理設定 — パスワード

管理ユーザー名	admin (変更することできません)	
管理パスワード	●●●●	(確認用)
	●●●●	
設定		

パラメーター	内容
管理ユーザー名	本製品の設定画面へログインするときのユーザ名です。「admin」以外に変更できません。
管理パスワード	本製品の設定画面へログインするときのパスワードを半角英数字と「_」で、8文字までで設定します。

時刻

本製品の内部時計を設定する画面です。

---> 管理設定 — 時刻

NTP機能使用中のため、設定値は書き換えられる可能性があります。

日付	2013 年 4 月 9 日
時刻	16 時 16 分 50 秒
タイムゾーン	(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル ▼

設定	現在の状態を表示
現在のアクセス中のパソコンから時刻を取得	

パラメーター	内容
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。
タイムゾーン	本製品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を指定します。

NTP

本製品の内部時計をNTPサーバーと同期するための設定を行う画面です。

---> 管理設定 — NTP

NTP機能	☒ 使用する
NTPサーバー	ntp.jst.mfeed.ad.jp
確認時間	24 時間毎

設定

パラメーター	内容
NTP機能	本製品の内部時計をNTPサーバーを使って設定するかどうかを指定します。
NTPサーバー	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期(1~24時間毎)を設定します。

アクセス

本製品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。

---> 管理設定 — アクセス

ログ出力 ☐ 使用する

使用する	管理アクセス	バケット数
☐	無線LANからの設定を禁止する	0

Internet側リモートアクセス設定

使用する	管理アクセス
☐	Internet側リモートアクセス設定を許可する

パラメーター	内容
ログ出力	管理アクセス設定のログを出力するかどうかを設定します。
無線LANからの設定を禁止する	本製品の無線ポートに接続された機器から本製品の設定をできないようにします。
Internet側リモートアクセス設定を許可する	Internetに接続されたネットワーク機器から本製品の設定画面へのアクセスを制限するかどうかを設定します。 アクセスを許可する場合は、許可IPアドレスと許可ポートを別途設定します。

ログ

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

---> 管理設定 — ログ

ログ情報転送機能	☐ 使用する												
syslogサーバー													
転送するログ情報	<table><tr><td>☒ アドレス変換</td><td>☒ ファイアウォール</td></tr><tr><td>☒ DHCPクライアント</td><td>☒ DHCPサーバー</td></tr><tr><td>☒ AOSS</td><td>☒ 無線LAN子機</td></tr><tr><td>☒ 認証</td><td>☒ 設定変更</td></tr><tr><td>☒ システム起動</td><td>☒ NTPクライアント</td></tr><tr><td>☒ 有線リンク</td><td></td></tr></table>	☒ アドレス変換	☒ ファイアウォール	☒ DHCPクライアント	☒ DHCPサーバー	☒ AOSS	☒ 無線LAN子機	☒ 認証	☒ 設定変更	☒ システム起動	☒ NTPクライアント	☒ 有線リンク	
☒ アドレス変換	☒ ファイアウォール												
☒ DHCPクライアント	☒ DHCPサーバー												
☒ AOSS	☒ 無線LAN子機												
☒ 認証	☒ 設定変更												
☒ システム起動	☒ NTPクライアント												
☒ 有線リンク													
設定 全選択 全解除													

パラメーター	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。

保存/復元

本製品の設定を保存したり、設定ファイルからの設定を復元する画面です。

---> 管理設定 — 保存/復元

現在の設定の保存	保存
	☐ 設定情報ファイルをパスワードで暗号化する

保存した設定の復元	設定ファイル 参照
	復元
	☐ 設定ファイルの復元にパスワードが必要

パラメーター	内容
現在の設定の保存	[保存]をクリックすると、本製品の現在の設定をファイルに保存します。「設定情報ファイルをパスワードで暗号化する」にチェックマークをつけると、設定情報ファイルにパスワードをつけて保存します。
保存した設定の復元	[参照]で設定ファイルを指定して[復元]をクリックすると、保存された設定ファイルから、本製品の設定を復元します。設定ファイルにパスワードが設定されている場合は、「設定ファイルの復元にパスワードが必要」にチェックマークをつけて、パスワードを入力してください。

初期化/再起動

本製品を初期化したり、再起動するための画面です。

---> 管理設定 — 初期化/再起動

再起動	エアステーションを再起動します。
	再起動

設定初期化	エアステーションの設定を初期化し、再起動します。
	設定初期化

パラメーター	内容
再起動	クリックすると、本製品が再起動します。
設定初期化	クリックすると、本製品の設定が初期化され、再起動します。

ファーム更新

本製品のファームウェアを更新するための画面です。

---> 管理設定 — ファーム更新

ファームウェアバージョン	WMR-300 Ver.XXX(RXX/BXX)
更新方法	☒ ローカルファイル指定 ☐ 自動更新(オンラインバージョンアップ)
ファームウェアファイル名	参照
エアステーションのファームウェアを更新する	

※ファームウェアファイルは下のリンクから取得できます。
[ダウンロードサービス](#)

パラメーター	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
更新方法	ファームウェアの更新方法を設定します。 ローカルファイル指定 パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を行います。 自動更新(オンラインバージョンアップ) インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルを取得して更新を行います。
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定します。

ステータス

システム

本製品の名称を設定する画面です。

---> ステータス - システム

製品名	WMR-300 Ver.XXX(RXX/BXX)	
エーステーション名	APXXXXXXXXXX	
動作モード	ルーターモードON	
インターネット	IPアドレス取得方法	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得
	接続状態	通信中
	操作	解放 書き換え
	取得方法	XXXXXXXXXX
	サブネットマスク	XXXXXXXXXX
	デフォルトゲートウェイ	XXXXXXXXXX (自動取得)
	DNS1(プライマリー)	XXXXXXXXXX (自動取得)
	ホスト名	APXXXXXXXXXX(手動設定)
	ドメイン名	localdomain(自動取得)
	MTU値	1500
	DHCPサーバーアドレス	XXXXXXXXXX
	リース取得時刻	2013/03/01/ 00:00:19
	リース期間	2013/03/03/ 00:00:19
	有線リンク	100Base-TX(全二重)
	MACアドレス	XXXXXXXXXX
LAN	取得方法	192.168.13.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	DHCPサーバー	Enabled
	MACアドレス	XXXXXXXXXX
無線(802.11n/g/b)	無線状態	有効
	SSID1	Buffalo-G-XXX
	認証方式	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
	暗号化	AES
	SSID2	Buffalo -G-XXX-1
	認証方式	AOSS WPA/WPA2 mixedmode - PSK
	暗号化	AOSS AES
	ANY接続	許可する
	ブライバシーセバレーター	使用しない
	無線チャンネル	10(自動設定)
ゲストポート機能	倍速モード	20 MHz
	MACアドレス	XXXXXXXXXX
	ゲストポート機能	使用しない

パラメーター	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
エーステーション名	エーステーション名が表示されます。

パラメーター	内容
動作モード	現在の動作モードが表示されます。
インターネット	Internetポートの情報が表示されます。
LAN	LANポートの情報が表示されます。
無線	無線LANポートの情報が表示されます。
ゲストポート機能	ゲストポートの情報が表示されます。

ログ

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

---> ステータス — ログ

表示するログ情報

☒ アドレス変換
☒ DHCPクライアント
☒ AOSS
☒ 認証
☒ システム起動
☒ 有線リンク
☒ ファイアウォール
☒ DHCPサーバー
☒ 無線LAN子機
☒ 設定変更
☒ NTPクライアント

表示

全選択

全解除

ログ

ファイル(logfile.log)に保存する

消去

日付時刻	種類	ログ内容
Apr 9 16:16:11	CONFIGURE	Admin Config -> Name configuration change
Apr 9 16:06:53	DHCPS	Sending INFORM to 0.0.0.0
Apr 9 16:06:53	DHCPS	Received INFORM...

パラメーター	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

通信パケット

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

---> ステータス — 通信パケット

インターフェース	送信パケット数		受信パケット数	
	正常	エラー	正常	エラー
Internet側有線	200	0	6345	0
LAN側無線(802.11n/g/b)	4982	0	4052	0

現在の状態を表示

パラメーター	内容
送信パケット数	Internet側有線、LAN側無線に送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	Internet側有線、LAN側無線から受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

クライアントモニター

本製品と通信している機器を確認する画面です。

---> ステータス — クライアントモニター

MACアドレス	リースIPアドレス	ホスト名	通信方式	無線の認証	802.11n
XXXXXXXXXXXX	192.168.13.2	-	無線	認証済み	有効
XXXXXXXXXXXX	192.168.13.3	John-PC	無線	認証済み	有効

現在の状態を表示

パラメーター	内容
クライアントモニター	本製品と通信している機器の情報(MACアドレス、リースIPアドレス、ホスト名、通信方式、無線認証、802.11n)が表示されます。

診断

本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。

---> ステータス — 診断

宛先アドレス

実行結果

宛先	192.168.13.3
実行結果	64 bytes from 192.168.13.3: seq=0 ttl=128 time=8.016 ms
	64 bytes from 192.168.13.3: seq=1 ttl=128 time=2.847 ms
	64 bytes from 192.168.13.3: seq=2 ttl=128 time=21.359 ms

パラメーター	内容
宛先アドレス	接続確認を行う機器のIPアドレス、またはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。

Chapter 3 - 本製品の各種設定

本章では、本製品の各種設定について説明します。

来客者向け無線設定を行う(ゲストポート設定)

本製品では、通常のネットワークから隔離された別の無線ネットワーク(ゲストポート)を設定することができます。このゲストポートを活用することで、自宅のネットワークのセキュリティを保ちつつ、来客者に対してインターネット環境を提供することができます。

Note: ゲストポートは、インターネットにのみ接続できるネットワークです。ゲストポート側から他のネットワークにアクセスすることはできません。

来客者がかんたんに接続できるように設定する場合

1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「無線設定」をクリックします。



3 「ゲストポート」をクリックします。



4 ゲストポートの設定を行って、「設定」をクリックします。

ゲストポート設定

ゲストポート機能	☒ 使用する
ゲストユーザー認証機能	☐ 使用する
ゲストポート用LAN側IPアドレス	☒ 自動設定 ☐ 手動設定

無線設定

11n/g/b	☒ 使用する
SSID	☐ エアステーションのMACアドレスを設定 (Guest-XXXX) ☒ 値を入力 : Guest-G
無線の認証	認証を行わない
無線の暗号化	暗号化なし

設定

ここでは例として、以下のように設定します。

設定例:

ゲストポート機能 - 使用する

ゲストユーザー認証機能 - 使用しない

ゲストポート用LAN側IPアドレス - 自動設定

SSID - 任意の設定(例: Guest-Gなど)

無線の認証 - 認証を行わない

無線の暗号化 - 暗号化なし

Notes:

- ここでは来客者がかんたんに無線接続できるように、無線の暗号化設定をしない例を紹介していますが、無線の暗号化設定を行うこともできます。
- WPA-PSK/WPA2-PSK使用時の「Key更新間隔」については、[無線設定] - [基本(11n/g/b)]の画面で設定した値がゲストポートにも使用されます。
- ゲストユーザー認証機能を「使用する」に設定する場合は、ゲストユーザーの登録を別途行う必要があります。詳細は、後述する「高度な設定を行う場合」の手順をご参照ください。
- ゲストポート用LAN側IPアドレスを「手動設定」に設定する場合は、別途IPアドレスの指定が必要です。[推奨値を設定する]をクリックすると、ゲストポート用LAN側IPアドレスの推奨値が入力欄に表示されます。

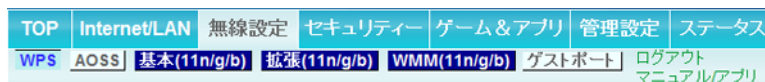
高度な設定を行う場合

1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「無線設定」をクリックします。



3 「ゲストポート」をクリックします。



4 [ゲストユーザーの編集]をクリックします。

ゲストユーザーの表示/操作

ユーザー名 接続MACアドレス 接続状態 操作

ゲストユーザーの編集

現在の状態を表示

5 ゲストユーザーを設定し、[新規追加]をクリックします。

ゲストユーザーの新規追加

ユーザー名	suzuki
パスワード	 (確認用)
新規追加	

Note: ゲストユーザーは5人まで登録できます。

6 [編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

7 ゲストユーザー認証機能を「使用する」に設定し[設定]をクリックします。

ゲストポート 設定

ゲストポート機能	☒ 使用する
ゲストユーザー認証機能	☒ 使用する
ゲストポート用LAN側IPアドレス	☒ 自動設定 ☐ 手動設定

Note: 来客者がネットワークに接続すると、ユーザー名とパスワードが求められますので、手順5で設定したユーザー名とパスワードを入力してください。

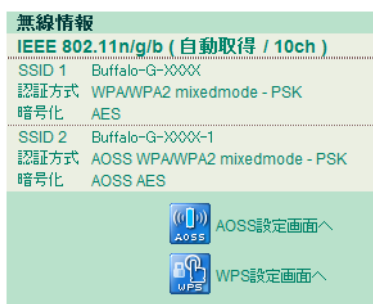
以上で設定は完了です。

AOSS接続で設定された内容を確認する

本製品の設定画面を使って、AOSS接続で設定された内容（SSIDや暗号化設定）を確認することができます。

1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 AOSSアイコンをクリックします。



3 設定内容が表示されます。

現在のセキュリティ情報 **802.11n/g/b**

対応暗号化方式	WPAWPA2 mixedmode - PSK(AES) (現在使用中)
SSID	Buffalo-G-XXXX-1
暗号化キー	xxxxxxxxxxxx

対応暗号化方式	WEP128					
SSID	Buffalo-G-XXXX-3					
暗号化キー	<table><tr><td>xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx</td><td rowspan="4">(送信キー)</td></tr><tr><td>xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx</td></tr><tr><td>xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx</td></tr><tr><td>xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx</td></tr></table>	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	(送信キー)	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	(送信キー)					
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx						
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx						
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx						

対応暗号化方式	WEP64					
SSID	Buffalo-G-XXXX-4					
暗号化キー	<table><tr><td>xxxxxxxx</td><td rowspan="4">(送信キー)</td></tr><tr><td>xxxxxxxx</td></tr><tr><td>xxxxxxxx</td></tr><tr><td>xxxxxxxx</td></tr></table>	xxxxxxxx	(送信キー)	xxxxxxxx	xxxxxxxx	xxxxxxxx
xxxxxxxx	(送信キー)					
xxxxxxxx						
xxxxxxxx						
xxxxxxxx						

AOSS接続を解除する

ANY接続拒否設定の設定を行うには、いったんAOSS接続を以下の手順で解除する必要があります。

AOSS接続を解除すると、本製品のSSIDや暗号化キーは、AOSS接続を行う前の値に戻るとともに、本製品に接続していたすべての無線機器が本製品から切断されます。各機器のマニュアルを参照して、再度無線機器を本製品に接続してください。

1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 AOSSアイコンをクリックします。



3 AOSS接続解除ボタンをクリックします。



AOSS動作設定

WEP専用SSIDの暗号化レベル	802.11n/g/b 停止
	802.11n/g/b 未設定

以上で設定は完了です。

倍速モードで無線通信する

本製品では、無線通信で利用する通信チャンネルの幅を従来の20MHz幅から40MHz幅に拡大することにより、従来比約2倍の通信速度(理論値最大300 Mbps)を実現する倍速モードを搭載しています。

倍速モードを有効にする場合は、以下の手順で設定を行ってください。

Notes:

- 倍速モードは、出荷時状態では無効に設定されています。
- 倍速モードで通信するには、本製品と通信する機器にも設定が必要な場合があります。
- 倍速モードで通信する際は、無線チャンネルを2つ使用します。周囲に多くの無線機器があるなど、電波が混雑している環境では、期待した効果が得られない場合があります。

1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「かんたん設定」より「11n倍速モード/無線の基本設定をする」をクリックします。



3 倍速モードの帯域を「40MHz」に設定し、[設定]をクリックします。

11n倍速モード/無線の基本設定をする
SSIDと無線チャンネルの設定をして下さい。

SSIDと無線チャンネルの設定をして下さい。

802.11n/g/b	SSID: Buffalo-G-XXXX
	無線チャンネル: 自動 (現在のチャンネル: 10)
	倍速モード - 帯域: 40 MHz
	倍速モード - 拡張チャンネル: 4

倍速モード
無線通信は1チャンネルあたり20MHzの帯域を使用しています。倍速モードは40MHzの帯域を使用し、通信速度を高速化します。

周囲に近い無線チャンネルを使用した無線機器がある場合、無線通信に影響があります。
影響を回避するには以下の無線チャンネルに分けてご使用ください。
11n/g/b: 1, 6, 11チャンネル
影響を回避するには以下の無線チャンネルに分けてご使用ください。
11n/g/b: 1, 6, 11チャンネル

「自動」を選択した場合にも、電波混雑防止機能により自動的にそのとき空いているチャンネルが使われます。
「現在のチャンネル」は「自動」選択時に選ばれたチャンネルが表示されます。

4 [設定完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

無線チャンネルを変更する

本製品は、電波混雑防止機能により他の無線機器が使用していないチャンネルを検索して自動的に割り当てるため、通常はチャンネルを設定する必要はありません。ただし周囲に多くの無線機器がある場合、チャンネルが正しく設定されず、電波干渉が発生して転送速度が低下してしまうことがあります。

その場合は、以下の手順でチャンネルを設定してください。

Notes:

- 設定するチャンネルによっては、他の無線機器と電波干渉を起こすことがあります。
- 隣接する無線機器に異なるチャンネルを設定するとき、隣りあったチャンネルなどの近い周波数では、互いに干渉し転送速度が低下してしまうことがあります。

1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「かんたん設定」より「11n倍速モード/無線の基本設定をする」をクリックします。



3 無線チャンネルを選択して[設定]をクリックします。

Note: 隣接する無線親機と干渉しないよう、5チャンネル以上間隔をあけて設定してください。

4 [設定完了]をクリックします。

Note: 無線機器から設定を行っている場合、本製品との接続が一時的に切断されますが、しばらくすると自動的に本製品に再接続され通信できるようになります。

以上で設定は完了です。

他の無線機器から本製品を検索できなくする (ANY接続拒否設定)

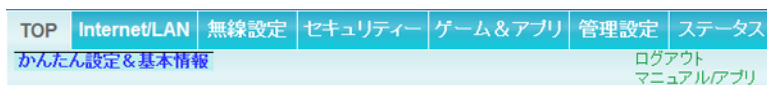
本製品に無線接続するには、SSIDと暗号化キーが必要です。ANY接続拒否設定を行うと、本製品のSSIDが隠蔽されて、他の無線機器から本製品を検索することができなくなるため、外部からの不正アクセスを受けにくくすることができます。

設定は、以下の手順で行います。

Notes:

- AOSSとANY接続拒否設定は同時に使用できません。以下の設定を行う前に、前述の「AOSS接続を解除する」を参照してあらかじめ設定を変更してください。
(以下の設定を行った後にAOSSを使って無線接続すると、ANY接続が「許可する」に設定変更されます)
- 以下の設定を行って本製品のSSIDを隠蔽しても、暗号化設定がされていないと外部からの不正アクセスを受けることがあります。

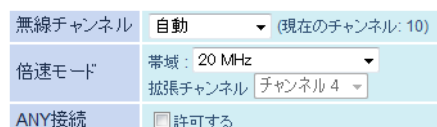
- 1 前述の「AOSS接続を解除する」を参照して、本製品の設定を変更します。
- 2 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 3 「無線設定」をクリックします。



- 4 「基本」をクリックします。



- 5 ANY接続の「許可する」をクリックし、チェックマークを外して[設定]をクリックします。



以上で設定は完了です。

無線機器同士の通信を禁止する(プライバシーセパレーター)

プライバシーセパレーター機能を使用すると、本製品に接続している無線機器同士のアクセス(共有フォルダーなどへのアクセス)を禁止することができます。

1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「無線設定」をクリックします。

TOP	Internet/LAN	無線設定	セキュリティ	ゲーム&アプリ	管理設定	ステータス
かんたん設定&基本情報					ログアウト	マニュアル/アプリ

3 「拡張」をクリックします。

TOP	Internet/LAN	無線設定	セキュリティ	ゲーム&アプリ	管理設定	ステータス
WPS	AOSS	基本(11n/g/b)	拡張(11n/g/b)	WMM(11n/g/b)	ゲストポート	ログアウト マニュアル/アプリ

4 「プライバシーセパレーター」欄の「使用する」をクリックしてチェックマークをつけ[設定]をクリックします。

Multicast Rate	1 Mbps ▼
DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	☒ 使用する
設定	

以上で設定は完了です。

ブロードバンド映像サービスの利用設定をする

ブロードバンド映像サービスやフレッツIPv6サービス対応機能を利用する場合は、以下の設定を行ってください。

Note: 本製品をブリッジモードでお使いの場合、ブロードバンド映像サービスやフレッツIPv6サービス対応機能を利用するための設定は、モデムやブロードバンドルーター側にて行います。モデムやブロードバンドルーターのマニュアルを参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本製品の設定変更(下記の設定)は必要ありません。

- 1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「かんたん設定」より「ブロードバンド映像サービスを使う」をクリックします。



- 3 ブロードバンド映像サービスを「使用する」に設定します。



無線機器でブロードバンド放送を視聴する場合は、Multicast Rateを映像配信ビットレートより高い速度に設定します。
すべて設定したら、[設定]をクリックします。

Note: Multicast Rateを高くすると、マルチキャスト通信可能な距離が短くなります。通常は、Multicast Rateを映像配信ビットレートの2倍程度に設定することをお勧めします。

以上で設定は完了です。

ポートを開放する

ポート変換設定を行うと、インターネットゲームを楽しんだり各種サーバーを公開することができます。

Notes:

- サーバーを公開する場合、固定グローバルIPアドレスの取得およびプロバイダーと別途契約が必要な場合があります。
- 手順はお使いの環境によって異なります。
ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合は、以下を参照してください。
利用するポート番号が不明な場合は、後述の「利用するポート番号が不明な場合」を参照してください。

ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合

Note: 本製品がルーターとして動作している場合にのみ、以下の設定が行えます。

- 1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「ゲーム&アプリ」をクリックします。



- 3 各項目を設定し、[新規追加]をクリックします。

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 ▼ 新規追加 group
Internet側IPアドレス	エアステーションのInternet側IPアドレス ▼ 手動設定:
プロトコル	☐ 全て ☐ ICMP ☐ 手動割当 プロトコル番号: ☒ TCP/UDP HTTP(TCPポート:80) ▼ 指定の仕方 任意のTCP/UDPポート:
LAN側IPアドレス	192.168.13.210
LAN側ポート	TCP/UDPポート

グループ:

登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択すると、新たなグループを作成し、そのグループに追加されます。新規追加時には半角英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。

Internet側IPアドレス：

公開する各種サーバーの固定グローバルIPアドレスを設定します。手動設定を選択したときは、手動設定欄にIPアドレスを指定する必要があります。プロバイダーから複数の固定グローバルIPアドレス指定を受けている場合には、「手動設定」で本製品のInternet側IPアドレスに設定してあるアドレス以外のグローバルIPアドレスを設定することが可能です。

プロトコル：

アドレス変換機能を使用するポートの種類を選択します。[TCP/UDP]を選択したときは、ポートを設定します。

LAN側IPアドレス：

インターネットからのアクセスの宛先となるプライベートIPアドレスを設定します。

LAN側ポート：

変換プロトコルでTCP/UDPを指定し、単独のポート番号を指定したときは、LAN側のポート番号を変更することができます。

以上の設定の組み合わせにより、最大32種類の組み合わせを設定できます。

Note: WWW(HTTP)サーバーを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意のLAN側のWWWサーバーIPアドレスに転送できます。

グループ：

任意の名称(例:group1)を入力します。

Internet側IPアドレス：

[エアステーションのInternet側IPアドレス]を選択します。

プロトコル：

TCP/UDPを選択し、[HTTP(TCPポート:80)]を選択します。(任意のTCP/UDPポートは空欄)

LAN側IPアドレス/LAN側ポート：

LAN側IPアドレスは、サーバーIPアドレス(例:192.168.13.210)を入力します。LAN側ポートは、空欄にします。

4 設定内容が登録されていることを確認します。

ポート変換登録情報

グループ	Internet側IPアドレス LAN側IPアドレス	プロトコル LAN側ポート	操作		
group	エアステーションのInternet側IPアドレス 192.168.13.210	TCP ポート:80 TCP ポート:80	未設定	修正	情報削除

以上で設定は完了です。

利用するポート番号が不明な場合

Note: 本製品がルーターとして動作している場合にのみ、以下の設定が行えます。

1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

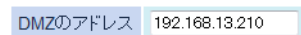
2 「ゲーム&アプリ」をクリックします。



3 「DMZ」をクリックします。



4 DMZのアドレスを設定し、「設定」をクリックします。



(*) WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス[192.168.13.3]

Notes:

- DMZのアドレスは、インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送されるLAN上のIPアドレスです。ここで設定されたIPアドレスの機器でのみ、ネットワークゲームなどを利用できます。
- ポート変換の設定で[LAN側IPアドレス]を設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
- DMZを使用する場合は、機器側のIPアドレスをここで設定した値に固定する必要があります。
- 使用するソフトや契約しているプロバイダーによっては、DMZを設定してもソフトウェアが動作しない場合があります。
- DMZに設定した機器は、他のパソコンに比べてセキュリティが低下するため、重要なデータなどをその機器に保存しないことをおすすめします。
- 安全のため、ファイアウォールの設定画面で、「NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する」を有効にしておくことをおすすめします。

以上で設定は完了です。

本製品のIPアドレスを変更する

当社ホームページに掲載しているエアステーション設定ツールを使用すると、本製品のIPアドレスをかんたんに変更することができます。ここでは、エアステーション設定ツールを使ったIPアドレスの変更方法について説明します。

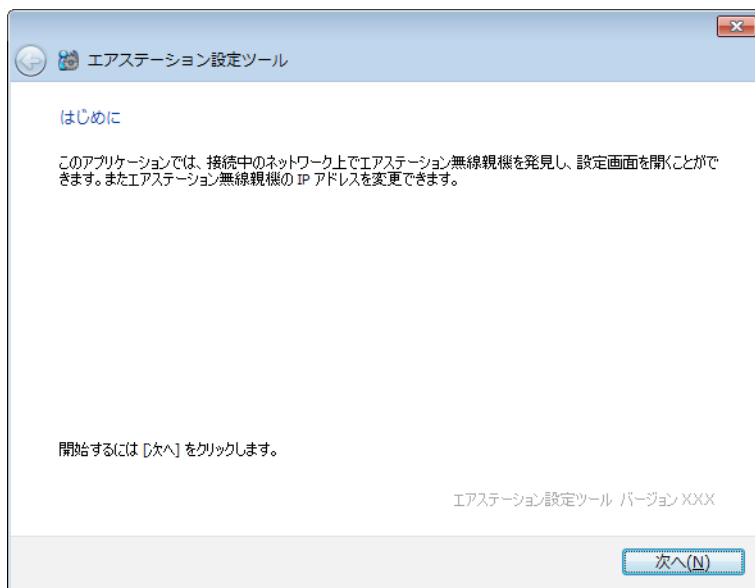
Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合

Notes:

- エアステーション設定ツールがインストールされていない場合は、Chapter 2の「エアステーション設定ツールのインストール」を参照してください。
- 本製品のIPアドレスは、設定画面からも変更できます。

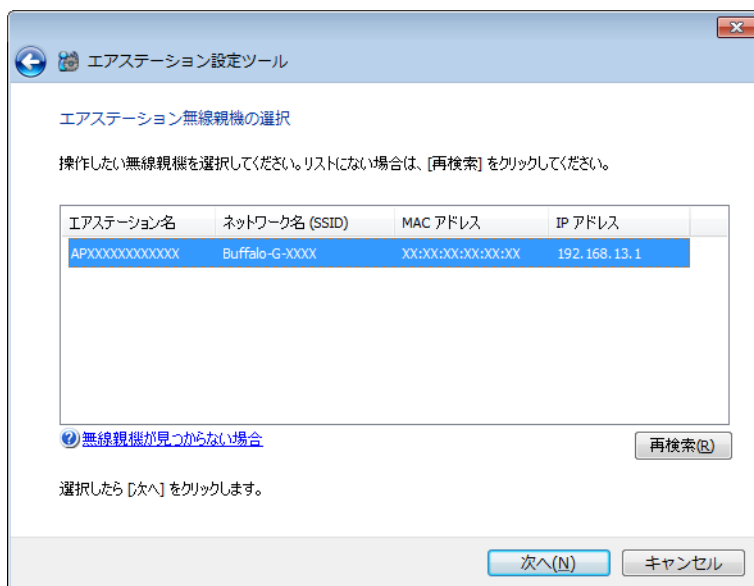
1 エアステーション設定ツールを起動します。
(Windows 8の場合は、「スタート」画面にある[エアステーション設定ツール]を選択します。
Windows 7/Vista/XPの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[エアステーション設定ツール]を選択します)

2 [次へ]をクリックします。



Note: パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

- 3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。



Note: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

- 4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。



Note: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「このパソコンのIPアドレス設定」という画面が表示されます。画面の指示に従ってIPアドレスを設定してください。

5 新しく設定するIPアドレスを入力して[次へ]をクリックします。

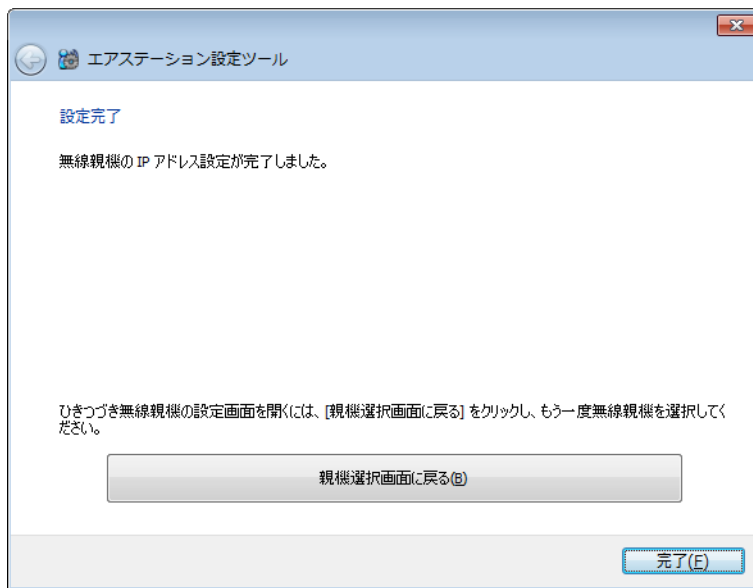
The screenshot shows a window titled 'エーステーション設定ツール' (Easystation Setting Tool) with a sub-header '無線親機の IP アドレス設定' (Wireless Router IP Address Setting). The main text says '無線親機の新しい IP アドレスを入力してください。' (Please enter the new IP address of the wireless router). There are two radio buttons: 'DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得する(かんたん)(D)' (Obtain IP address automatically from DHCP server (easy) (D)) and '次の IP アドレスを使う(上級者・管理者向け)(S)' (Use the following IP address (advanced/administrator) (S)). The second option is selected. Below it, there are input fields for 'IP アドレス(I)' (192 . 168 . 13 . 150) and 'サブネット マスク(U)' (255.255.255.0). A link '設定方法' (Setting Method) is next to the IP field. Below the fields, there are two asterisked notes: '※ 無線親機の ROUTER ランプが点灯している場合(ルーター機能有効時)は、この設定にはできません。' (When the router lamp of the wireless router is lit (router function enabled), this setting cannot be made.) and '※ 無線親機の ROUTER スイッチが「AUTO」に設定されていて、かつ、ROUTER ランプが消灯している場合(ルーター機能無効時)は、この設定にはできません。' (When the router switch of the wireless router is set to 'AUTO' and the router lamp is off (router function disabled), this setting cannot be made.). A reference information note says '※ 参考情報 - このパソコンの IP アドレス: 192.168.13.2 / 255.255.255.0 : ローカル エリア接続 (Intel(R) 82579V Gigabit Network)'. At the bottom, there is a button '次へ(N)' (Next (N)).

Note: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのパソコンと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[はい]をクリックしてください。

6 本製品に設定されているパスワード(出荷時状態では「password」)を入力し、[次へ]をクリックします。

The screenshot shows a window titled 'エーステーション設定ツール' (Easystation Setting Tool) with a sub-header '設定中' (Setting in Progress). The main text says 'この無線親機には、管理パスワードが設定されています。' (This wireless router has a management password set.) and '無線親機の管理パスワードを入力してください。' (Please enter the management password of the wireless router). There is an input field for '管理パスワード(P)' (Management Password (P)) with the text 'password' inside. To the right of the field is a checkbox '入力文字列を表示(V)' (Show input text (V)) which is checked. Below the field, there is a note: '出荷時の設定は、無し(空欄)または「password」です。' (The factory setting is, none (empty) or 'password'). At the bottom, there is a button '次へ(N)' (Next (N)).

7 [完了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

Mac OSをお使いの場合

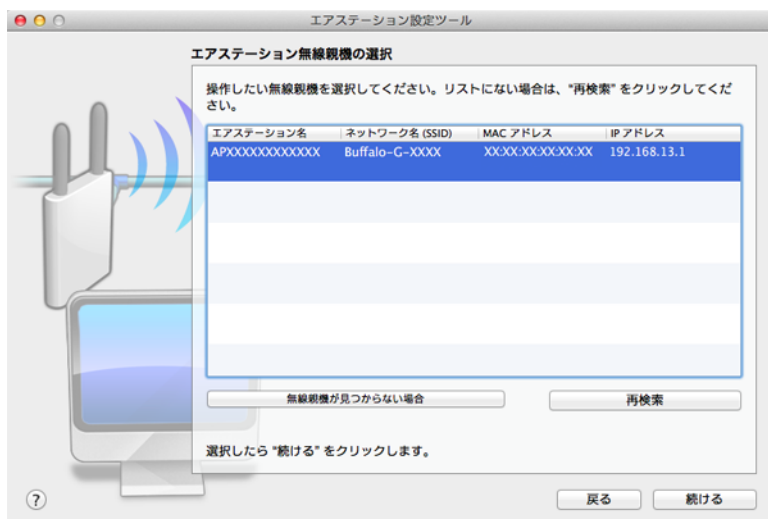
ここでは、Mac OS 10.8の場合を例に説明します。

1 当社ホームページからダウンロードしたエアステーション設定ツールを実行します。

2 [続ける]をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。



Note: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。



5 新しく設定するIPアドレスを入力して[続ける]をクリックします。



Note: 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのMacと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[無視して続ける]をクリックしてください。

- 6 本製品に設定されているパスワード(出荷時状態では「password」)を入力し、[続ける]をクリックします。



- 7 [終了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

ルーター機能を停止する

本製品のルーター機能を使用しないで、アクセスポイントとして使用する場合は、以下の手順で行います。

Note: 本製品のルーター機能をOFFにすると、本製品のIPアドレスが「192.168.11.100」に変更されます。また、以下の機能が無効になりますのでご注意ください。

- DHCPサーバー (IPアドレス自動割当) 機能
- 静的IPマスカレード (アドレス変換) 機能
- パケットフィルタ機能

1 Chapter 2の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 動作モード情報にて、「BRIDGEモード」を選択して、[設定]をクリックします。



以上で設定は完了です。

本製品のファームウェアバージョンを確認する

本製品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認できます。

- 1 Chapter 2 の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「ステータス」をクリックします。

TOP	Internet/LAN	無線設定	セキュリティ	ゲーム&アプリ	管理設定	ステータス
かんたん設定&基本情報					ログアウト マニュアル/アプリ	

- 3 ファームウェアのバージョンを確認します。

製品名	WMR-300 Ver.XXX (RXXX/BXXX)
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX
動作モード	ルーターモードON

Note: 製品名欄の「Ver.x.xx」の部分がファームウェアのバージョンです。

Chapter 4 - 各種ソフトウェアの使いかた

本章では、本製品に対応した各種ソフトウェアの使いかたについて説明します。

エアステーション設定ツールの使いかた

エアステーション設定ツールは、本製品の設定画面の表示や本製品のIPアドレスを変更できるソフトウェアです。ご使用方法は、本書の以下の項目を参照してください。

設定画面の表示 (Windows)：

Chapter 2の「設定画面を表示する」の「Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合」

設定画面の表示 (Mac)：

Chapter 2の「設定画面を表示する」の「Mac OSをお使いの場合」

IPアドレスの設定 (Windows)：

Chapter 3の「本製品のIPアドレスを変更する」の「Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合」

IPアドレスの設定 (Mac)：

Chapter 3の「本製品のIPアドレスを変更する」の「Mac OSをお使いの場合」

AirStation倍速設定ツールの使いかた

本製品や当社製無線子機の倍速モードの有効/無効をかんたんに切り替えることができるソフトウェアです。使用方法は以下の手順を参照してください。

- 1** AirStation倍速設定ツールを起動します。
(Windows 8の場合は、「スタート」画面にある[AirStation倍速設定ツール]を選択します。
Windows 7/Vista/XPの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[AirStation倍速設定ツール]を選択します。)

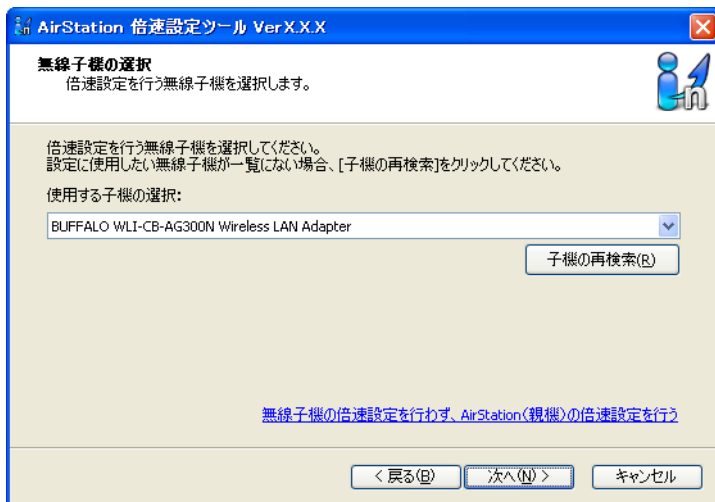
Note: Note:

AirStation倍速設定ツールがインストールされていない場合は、以下のホームページよりダウンロードして、最新版をインストールしてください。

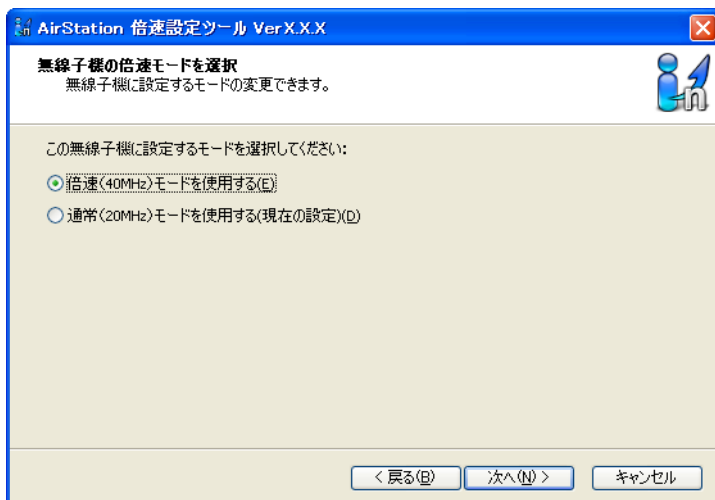
WMR-300: <http://d.buffalo.jp/wmr-300/>

- 2** [次へ]をクリックします。
- 3** 倍速設定に関する注意事項が表示されますので、内容を確認して[次へ]をクリックします。

- 4** 当社製無線子機の倍速設定を行う場合は、お使いの当社製無線子機が表示されていることを確認して[次へ]をクリックします。
子機の倍速設定は行わず、本製品のみ倍速設定を行う場合は、「無線子機の倍速設定を行わず、AirStation(親機)の倍速設定を行う」をクリックして、手順8へ進んでください。



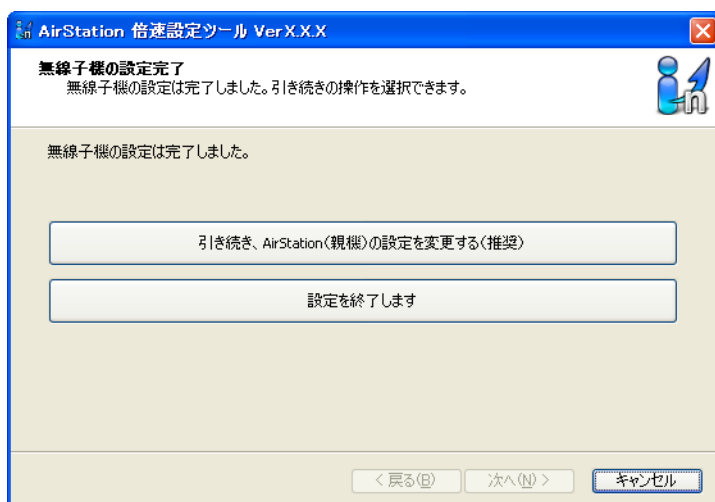
- 5** 「倍速(40MHz)モードを使用する」を選択して[次へ]をクリックします。



Note: Note:

倍速設定を元に戻す場合は、「通常(20MHz)モードを使用する」を選択して[次へ]をクリックしてください。

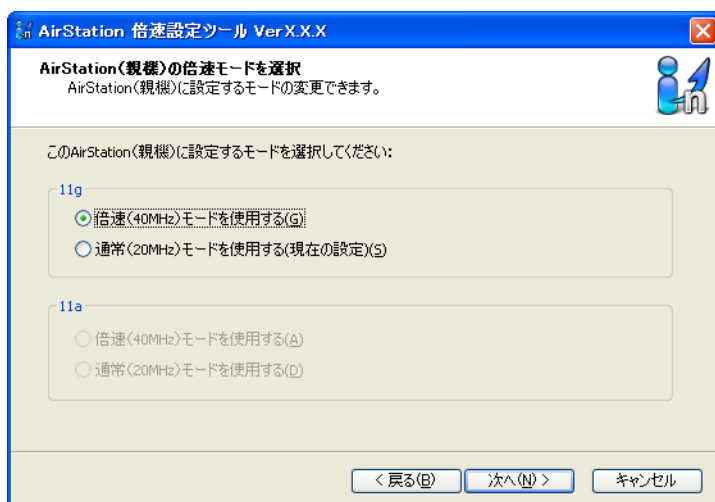
- 6** 設定が完了するまでしばらく待ちます。
- 7** この画面が表示されたら、無線子機の設定は完了です。
続けて本製品の倍速設定も行う場合は、[引き続き、AirStation(無線親機)の設定を変更する]をクリックして、手順8へ進んでください。
無線子機だけの設定で終了する場合は、[設定を終了します]をクリックしてください。



Note: Note:

無線親機のパスワードの入力が求められた場合は、設定画面のパスワード(出荷時は「password」)を入力してください。

- 8** 「倍速(40MHz)モードを使用する」を選択して[次へ]をクリックします。



Note: Note:

倍速設定を元に戻す場合は、「通常(20MHz)モードを使用する」を選択して[次へ]をクリックしてください。

- 9** 設定が完了するまでしばらく待ちます。

- 10** 「倍速設定は正常に終了しました」と表示されたら、[完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Chapter 5 - 困ったときは

インターネットにつながらない

原因1 配線が間違っている

本製品のINTERNET端子と、ホテルの客室のLAN端子をLANケーブルで正しく接続してください。
(カチッと音がするまでLANケーブルを差し込んでください)

原因2 インターネットに接続しようとする機器が本製品に接続されていない

エアステーション設定ツールを使用して、リストに本製品が表示されるか確認してください。リストに本製品が表示されない場合は、インターネットに接続しようとする機器と本製品を無線で接続してください。

Note: Notes:

- ・ エアステーション設定ツールの使いかたは、Chapter 4の「エアステーション設定ツールの使いかた」を参照してください。
- ・ 無線での接続方法は、製品添付のマニュアルを参照してください。

前面のPOWER/DIAGランプが周期的に赤色に点滅している

5回周期の場合

本製品のInternet側のIPアドレスとLAN側のIPアドレスが同じネットワークアドレスになっています。Chapter 3の「本製品のIPアドレスを変更する」を参照して、本製品のLAN側IPアドレスを変更してください。

2、3、4回周期の場合

いったん本製品のUSBケーブルを抜いて、再度挿してください。それから2分程度経っても同じような症状が見られる場合は、本製品の故障が考えられます。当社のサポートセンターまでご連絡ください。

連続点滅の場合

本製品の設定保存中やファームウェアの更新中はPOWER/DIAGランプが連続点滅します。異常ではありませんので、そのままご使用ください。

無線接続が切れる/不安定

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品のUSBケーブルを抜いて、再度挿してください。

原因2 本製品と無線機器の距離が遠い

本製品と無線機器の距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。無線機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 本製品周辺の電波環境が悪い

電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になる場合があります。

それらの機器を本製品から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品から遠ざけることができない場合は、本製品の無線チャンネルを変更してください。

原因4 本製品のファームウェアが古い

上記1～3の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、本製品のファームウェアを最新版に更新してください。

原因5 無線機器のドライバーが古い

上記1～4の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、無線機器のドライバー（ソフトウェア）を最新版に更新してください。

無線でつながらない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品のUSBケーブルを抜いて、再度挿してください。

原因2 本製品と無線機器の距離が遠い

本製品と無線機器の距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。無線機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 セキュリティソフトが動作している

無線機器にウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合、無線接続設定に失敗することがあります。いったんセキュリティソフトを終了して、無線接続設定を完了させてからセキュリティソフトを起動してください。

原因4 無線接続の設定が間違っている

無線接続の設定が間違っていると、本製品に無線で接続できません。製品添付のマニュアルを参照して、接続してください。

原因5 本製品にANY接続拒否の設定がされている

本製品にANY接続拒否の設定がされていると、無線機器から検索しても本製品が表示されません。その場合は、ANY接続拒否を解除してから接続してください。

設定画面が表示できない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品のUSBケーブルを抜いて、再度挿してください。

原因2 設定用機器が本製品に接続されていない

エアステーション設定ツールを使用して、リストに本製品が表示されるか確認してください。リストに本製品が表示されない場合は、インターネットに接続しようとする機器と本製品を無線で接続してください。

Note: Notes:

- ・ エアステーション設定ツールの使いかたは、Chapter 4の「エアステーション設定ツールの使いかた」を参照してください。
- ・ 無線での接続方法は、製品添付のマニュアルを参照してください。

無線での通信が遅い

原因1 本製品周辺の電波環境が悪い

電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になり、通信速度が低下する場合があります。

それらの機器を本製品から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品から遠ざけることができない場合は、本製品の無線チャンネルを変更してください。

原因2 倍速設定が無効になっている

本製品の11n/g/b (2.4GHz帯)の倍速設定は、出荷時の状態で無効に設定されています。倍速設定を有効に設定することで、無線での通信速度が速くなる場合があります。

Note: Notes:

- 本製品の倍速設定方法については、Chapter 3の「倍速モードで無線通信する」を参照してください。
- 本製品の設定だけでなく、お使いの機器の設定も必要になる場合があります。
- 倍速設定は、通常の(20MHz)の倍の帯域(40MHz)を使って通信します。2.4GHz帯を使用する機器が周囲に多くあり、電波環境が悪い場合は、通信速度が向上しないことがあります。

設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、RESETボタンをPOWER/DIAGランプが赤色に点灯するまで(約3秒間)押し続けてください。その後、本製品が再起動したら設定の初期化は完了です。

Chapter 6 付録

製品仕様

WMR-300

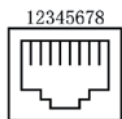
無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11n / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T66 (IEEE 802.11g / IEEE 802.11b) (小電力データ通信システム規格)
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)
周波数範囲(中心周波数)	1～13 ch (2412～2472 MHz) 基本的に携帯電話、コードレスフォン、テレビ、ラジオ等とは混信しません、これらの機器が、2.4 GHz帯の無線を使用する場合や電子レンジが動作している場合は、電波干渉によって通信障害が発生する可能性があります。
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
セキュリティー	AOSS、WPA2-PSK (AES)、WPA-PSK (AES)、WPA/WPA2 mixed PSK (AES)、WEP (128 bit / 64-bit)、プライバシーセパレーター、ANY接続拒否/SSIDステルス
データ転送速度(オートセンス)	IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI>: 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (2 stream) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 20 MHz Channel <400 ns GI>: 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (2 stream) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI>: 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (2 stream) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI>: 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (2 stream) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (1 stream) IEEE 802.11g: 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE 802.11b: 11/5.5/2/1 Mbps

有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3u (100BASE-TX) / IEEE 802.3 (10BASE-T)
データ転送速度	10/100 Mbps (自動認識)
データ伝送モード	半二重/全二重 (自動認識)
伝送路符号化方式	4B5B/MLT-3 (100BASE-TX) / マンチェスターコーディング (10BASE-T)
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
端子	100 BASE-TX / 10 BASE-T 兼用端子 (AUTO-MDIX)
その他	
電源電圧	5V
消費電力	2.5 W (最大)
外形寸法	58 (H) x 58 (D) x 20 (W) mm (本体のみ)
重量	51 g (本体のみ)
動作環境	0 ～ 40 ℃、10 ～ 85 % (結露しないこと)

端子仕様

LAN端子/Internet端子仕様

コネクター形状(RJ-45型8極コネクター)



100BASE-TX/10BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	RD+/TD+	受信データ(+)/送信データ(+)
2	RD-/TD-	受信データ(-)/送信データ(-)
3	TD+/RD+	送信データ(+)/受信データ(+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ(-)/受信データ(-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

Note: ※AUTO-MDIX機能により、送信/受信データを自動的に切り替えます。

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
インターネット	IPアドレス取得方法	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得
	デフォルトゲートウェイ	—
	DNS(ネーム)サーバーアドレス	—
	Internet側MACアドレス	デフォルトのMACアドレスを使用
	Internet側MTU値	1500バイト
LAN	LAN側IPアドレス	ルーターモード時: 192.168.13.1 (255.255.255.0) ブリッジモード時: 192.168.11.100 (255.255.255.0)
	DHCPサーバー機能	使用する
	割り当てIPアドレス	192.168.13.2から64台
	拡張設定	表示しない
	リース期間	48時間
	デフォルトゲートウェイの通知	エアステーションのLAN側IPアドレス
	DNSサーバーの通知	エアステーションのLAN側IPアドレス
	WINSサーバー	取得済みのWINSサーバーアドレス
	ドメイン名	取得済みのドメイン名
DHCPリース	リース情報	—
アドレス変換	アドレス変換	使用する
	破棄パケットのログ出力	出力しない
経路情報	経路情報	—
WPS	WPS	使用する
	外部Registrar	使用する
	エアステーションのPINコード	製品固有の8桁のPINコードが設定済み
	EnrolleeのPINコード	—
	WPS用無線セキュリティ設定	WPSステータス: Configured セキュリティ: WPA2-PSK AES SSID/暗号鍵: 製品本体のラベルに記載の値
AOSS	WEP専用SSIDの暗号化レベル	—
	WEP専用SSID隔離	未設定
	本体側AOSSボタン	使用する

機能	パラメーター	出荷時設定		
基本	無線チャンネル	自動		
	倍速モード	20 MHz、拡張チャンネルは自動設定		
	ANY接続	許可する		
	SSID1	使用する		
	SSID2	使用する		
	SSID3:WEP	使用しない		
	隔離機能	使用しない		
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定		
	無線の認証	SSID1: WPA/WPA2 mixedmode - PSK SSID2: WPA2-PSK		
	無線の暗号化	SSID1: AES SSID2: AES		
	PSK (事前共有キー)	製品本体のラベルに記載の値		
	Key更新間隔	60分		
拡張	Multicast Rate	1 Mbps		
	DTIM Period	1		
	プライバシーセパレーター	使用しない		
WMM	WMM-EDCAパラメーター(優先度 AC_BK (低い))		AP用	STA用
		CWmin	15	15
		CWmax	1023	1023
		AIFSN	7	7
	WMM-EDCAパラメーター(優先度 AC_BE (通常))	TXOP Limit	0	0
			AP用	STA用
		CWmin	15	15
		CWmax	63	1023
		AIFSN	3	3
		TXOP Limit	0	0
	WMM-EDCAパラメーター(優先度 AC_VI (優先))		AP用	STA用
		CWmin	7	7
		CWmax	15	15
		AIFSN	1	2
		TXOP Limit	94	94
	WMM-EDCAパラメーター(優先度 AC_VO (最優先))		AP用	STA用
		CWmin	3	3
		CWmax	7	7
		AIFSN	1	2
		TXOP Limit	47	47

機能	パラメーター	出荷時設定
ゲストポート	ゲストポート機能	使用しない
	ゲストユーザー認証機能	使用しない
	ゲストポート用LAN側IPアドレス	自動設定
	11n/g/b	使用しない
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
ファイアウォール	ログ出力	出力しない
	簡易ルール	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する 無効 IDENTの要求を拒否する 有効 Internet側からのPINGに応答しない 有効
VPNパススルー	フレッツIPv6サービス対応機能	使用しない
	PPTPパススルー	使用しない
ポート変換	ポート変換登録情報	未設定
DMZ	DMZのアドレス	未設定
UPnP	UPnP	使用する
本体	エアステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
パスワード	管理ユーザー名	admin (変更することはできません)
	管理パスワード	password
時刻	日付	2013年1月1日
	時刻	0時0分0秒
	タイムゾーン	(GMT + 09:00) 東京、大阪、ソウル
NTP	NTP機能	使用する
	NTPサーバー	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24時間毎
アクセス	ログ出力	使用しない
	制限項目	無線LANからの設定を禁止する 無効
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	Syslogサーバー	—
	転送するログ情報	アドレス変換、ファイアウォール、DHCPクライアント、DHCPサーバー、AOSS、無線LAN子機、認証、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク
ファーム更新	更新方法	ローカルファイル指定

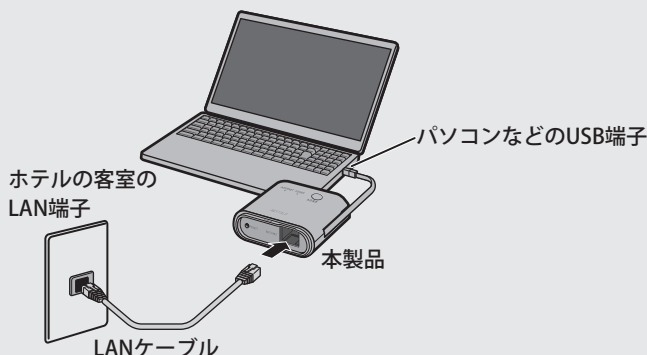
著作権・免責事項

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AirStation™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

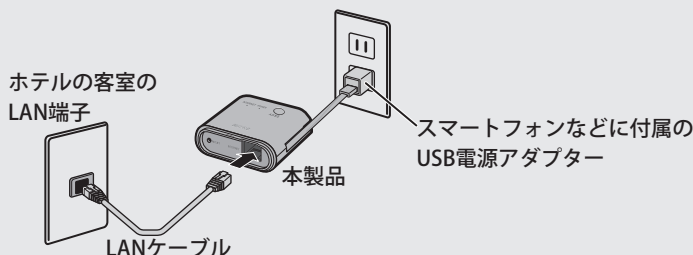
1 設置/配線手順と仕様/詳細情報

設置/配線手順

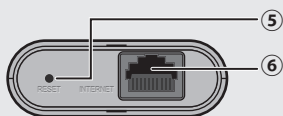
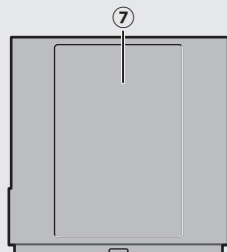
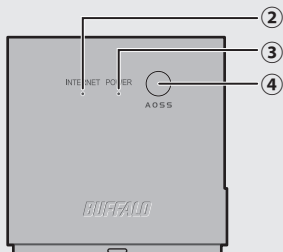
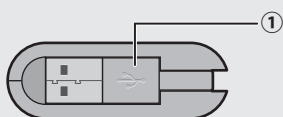
パソコンなどのUSB端子から 本製品に電源供給する場合



コンセントから本製品に 電源供給する場合



各部の名称とはたらき



① USBケーブル

本製品の電源ケーブルです。このケーブルをパソコンやUSB機器に接続すると、本製品に電力が供給されます。

持ち運びの際は、図の位置にケーブルを収納してください。

② INTERNETランプ

点灯(緑): 本製品がルーター(ルーター機能ON)として動作中で、インターネットに接続できる状態
点滅(緑): 本製品がルーター(ルーター機能ON)として動作中で、インターネットに接続できない状態
消灯: 本製品がブリッジ(ルーター機能OFF)として動作中

③ POWER/DIAGランプ

点灯(緑): 電源がONの状態、無線LAN有効時
点滅(緑): 内部システム起動中
2回点滅(緑): AOSS/WPS待ち受け状態
ゆっくり点滅(緑): 電源がONの状態、無線LAN無効時
連続点滅(赤): AOSS/WPS失敗
点滅(赤): 点滅回数により本製品の状態を示します。(以下参照)

点滅状態	内 容	状 態
2回点滅 ^{※1}	フラッシュROM異常	フラッシュメモリーの読み書きができません。
3回点滅 ^{※1}	有線LAN異常	有線LANコントローラーが故障しています。
4回点滅 ^{※1}	無線LAN異常	無線LANコントローラーが故障しています。
5回点滅	IPアドレス設定異常	INTERNET側とLAN側のネットワークアドレスが同じため通信できません。本製品のLAN側IPアドレスの設定を変更してください。
連続点滅 ^{※2}	ファームウェア更新中 設定保存/初期化中	ファームウェアを更新しています。 設定を保存/初期化しています。

※1 一度、本製品のUSBケーブルを挿し直してください。再びランプが点滅している場合は、当社修理センター宛に本製品をお送りください。

(修理についてのご案内は、別紙「大切なお知らせ」を参照してください)

※2 赤色に連続点滅中は、絶対に本製品のUSBケーブルを抜かないでください。

④ AOSSボタン

本製品の電源を入れた状態で、POWER/DIAGランプが緑色に点滅するまで(約1秒間)ボタンを押すと、本製品がAOSS/WPS待ち受け状態になります。

⑤ RESETボタン

本製品の電源を入れた状態で、POWER/DIAGランプが赤く点灯するまで(約3秒間)ボタンを押し続けると、本製品の設定が出荷時の状態に戻ります。

⑥ INTERNET端子

ホテルの客室に設置されているLAN端子に接続します。100/10Mbpsに対応しています。

⑦ 出荷時設定ラベル

本製品のSSIDや暗号化キー、PINコード、MACアドレス、QRsetup用のQRコードが記載されています。各機器を本製品に無線接続する場合にこれらの情報を使用します。

パッケージ内容

※ 追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

- | | | | |
|--|-----|--|-----|
| ☐ 本体 | 1 個 | ☐ 大切なお知らせ | 1 枚 |
| ☐ 設置/配線手順と仕様/詳細情報 | 1 枚 | ☐ 保証書 | 1 枚 |
| ☐ 無線LAN接続ガイド | 1 枚 | | |
| ☐ 来客者用ネットワークの設定方法について | 1 枚 | | |

以下のものは、LANケーブル収納ケース付きモデルにのみ付属しています。

- | | |
|---|-----|
| ☐ LANケーブル収納ケース | 1 個 |
| ☐ LANケーブル | 1 本 |

仕様 / 出荷時の設定

●仕様

項 目	仕 様
データ転送速度 (INTERNET)	100/10Mbps (自動認識)
端子数	INTERNET端子×1 (AUTO-MDIX対応)
消費電力	最大2.5W
動作温度/動作湿度	0~40℃/10~85% (結露しないこと)
外形寸法 ※本体のみ	58 (H) × 58 (D) × 20 (W) mm

●出荷時の設定

項 目	出荷時設定
LAN設定	
LAN側IPアドレス	192.168.13.1 (255.255.255.0)
DHCPサーバー機能	使用する 割り当てIPアドレス : 192.168.13.2から64台 デフォルトゲートウェイ : 本製品のLAN側IPアドレス DNSサーバーの通知 : 本製品のLAN側IPアドレス
無線設定	
無線セキュリティ設定	SSID/暗号化キー: 本製品のラベルに記載 セキュリティ: WPA/WPA2 mixedmode-PSK
管理設定	
ユーザー名/パスワード	本製品のラベルに記載

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本紙には当社製品だけでなく、当社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。

パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、当社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

	絶対に行ってはいけなことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容 (例: 感電注意) が描かれています。
	○に斜線は、してはいけない事項 (禁止事項) を示す記号です。 ○の中の近くに、具体的な禁止事項が描かれています。(例: 分解禁止)
	●は、しなければならぬ行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容 (例: プラグをコンセントから抜く) が描かれています。

△ 警告



USBケーブルを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。

- 設置時に、USBケーブルを壁やラック (棚) などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具に近付けたり、過熱したりしないでください。
- USBケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- USBケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。万一、USBケーブルが傷んだら、当社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。



本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。



煙が出たり変な臭いや音がしたら、USBケーブルを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐにUSBケーブルを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。



ACコンセントを使用する場合、AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。



ACコンセントを使用する場合、プラグは完全に差し込んでください。

差し込みが不完全のまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。



液体や異物などが内部に入ったら、USBケーブルを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。



風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあります。



製品内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

けがをする危険があります。

△ 注意



USBケーブルが接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。

感電の原因となります。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。



次の場所には設置しないでください。

感電、火災の原因になったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界が発生するところ (故障の原因となります)
- 静電気が発生するところ (故障の原因となります)
- 震動が発生するところ (けが、故障、破損の原因となります)
- 平らでないところ (転倒したり、落下して、けがの原因となります)
- 直射日光が当たるところ (故障や変形の原因となります)
- 火気の周辺、または熱気がこもるところ (故障や変形の原因となります)
- 漏電の危険があるところ (故障や感電の原因となります)
- 漏水の危険があるところ (故障や感電の原因となります)



本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、地方自治体にお問い合わせください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁等) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる/不正に侵入されるなどの可能性があります。

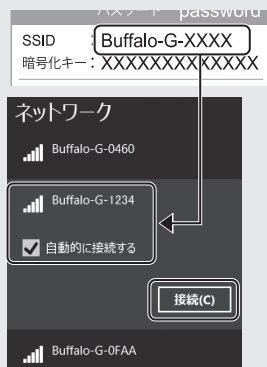
本製品は、セキュリティ設定をおこなった状態で、本製品をお使いください。また、「エアステーション設定ガイド」の「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意」もあわせてお読みください。

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AirStation™、AOSS™は、株式会社パフアローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一の不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときにはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品 (付属品等を含む) を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制を正確に確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証していません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

2 無線LAN接続ガイド

Windows 8.1 Windows 8

- 1 パソコン・タブレット機器の電源をONにします。
- 2 スタート画面でカーソルを右上端に移動し、[設定] (⚙️) をクリックします。
- 3 画面の (📶) を選択します。
- 4 製品本体ラベルの「SSID」に記載の接続先をリストから選択します。



- 5 「暗号化キー」を入力し、[次へ] をクリックします。



- 6 共有に関するメッセージ(例:「このネットワーク上のPC、デバイス、コンテンツを探し、プリンターやTVなどのデバイスに自動的に接続しますか?」など)が表示されたら、「いいえ」をクリックします。

- 7 手順 ④ で選択した接続先に「接続済み」と表示されることを確認します。

以上で完了です。Webブラウザ (Internet Explorerなど) を起動して、インターネットに接続してください。

Windows 7

- 1 パソコン・タブレット機器の電源をONにします。
- 2 タスクトレイのアイコン (📶) をクリックします。
- 3 製品本体ラベルの「SSID」に記載の接続先をリストから選択します。



- 4 「暗号化キー」を入力し、[OK] をクリックします。



- 5 タスクトレイのアイコンが (📶) になっていることを確認します。

以上で完了です。Webブラウザ (Internet Explorerなど) を起動して、インターネットに接続してください。

※「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたら、[キャンセル] をクリックしてください。

Windows Vista

- 1 パソコン・タブレット機器の電源をONにします。
- 2 タスクトレイのアイコン (📶) をクリックし、「ネットワークに接続」を選択します。
- 3 製品本体ラベルの「SSID」に記載の接続先をリストから選択します。



※「アクセスポイントの構成ボタンを押してください」という画面が表示された場合は、「代わりに、ネットワークキーまたはパスワードを入力する必要があります」をクリックしてください。

- 4 「暗号化キー」を入力し、[接続] をクリックします。



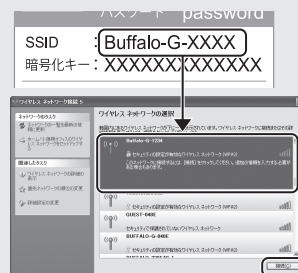
- 5 「Buffalo-G-xxxx」に正しく接続されました」と表示されたら、「このネットワークを保存します」と「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れ、[閉じる] をクリックします。

以上で完了です。Webブラウザ (Internet Explorerなど) を起動して、インターネットに接続してください。

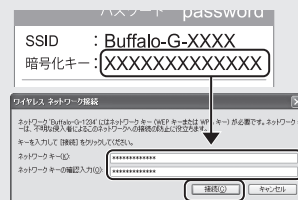
※「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたら、[キャンセル] をクリックしてください。

Windows XP

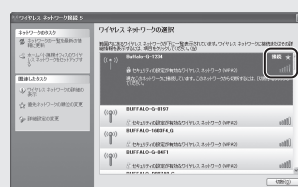
- 1 パソコン・タブレット機器の電源をONにします。
- 2 タスクトレイのアイコン (📶) をクリックします。
- 3 製品本体ラベルの「SSID」に記載の接続先をリストから選択します。



- 4 「暗号化キー」を入力し、[接続] をクリックします。



- 5 「Buffalo-G-xxxx」に「接続」と表示されていることを確認します。



- 6 [X] をクリックして、画面を閉じます。

以上で完了です。Webブラウザ (Internet Explorerなど) を起動して、インターネットに接続してください。

Mac OS

- 1 Macの電源をONにします。
- 2 画面上部のバーから、アイコン()を選択します。
- 3 製品本体ラベルの「SSID」に記載の接続先をリストから選択します。
- 4 「暗号化キー」を入力し、[接続]をクリックします。



以上で完了です。Webブラウザ (Safariなど) を起動して、インターネットに接続してください。

iPod touch / iPhone / iPad

- 1 iPod touch/iPhone/iPadの電源をONにします。
- 2 ホーム画面で「設定」をタップし、「Wi-Fi」をタップします。
- 3 製品本体ラベルの「SSID」に記載の接続先をリストから選択します。
- 4 「暗号化キー」を入力し、[Join]をタップします。



- 5 チェックマークが表示されることを確認します。



以上で完了です。Webブラウザ (Safariなど) を起動して、インターネットに接続してください。

Android (アンドロイド) 機器

- 1 Android (アンドロイド) 機器の電源をONにします。
- 2 Wi-Fi設定の画面を表示します。
- 3 製品本体ラベルの「SSID」に記載の接続先をリストから選択します。
- 4 「暗号化キー」を入力し、[接続]をタップします。



- 5 「接続済み」と表示されたことを確認します。



以上で完了です。Webブラウザを起動して、インターネットに接続してください。

QRsetupとAOSSを使った無線接続方法

QRsetupについて

専用アプリを使って本製品のラベルに記載されているQRコードを読み込むことで、本製品への無線接続を行う方法です。

iPhone/iPad、Android (アンドロイド) 機器に対応しています。iPhone/iPadはApp Store (アップストア) から、Android機器はPlayストア (プレイストア) から「QRsetup」をダウンロードしてください。

QRsetupを起動し、画面の案内に従ってQRコードを読み込むと、本製品に無線接続することができます。

※ SSIDや暗号化キーの設定を、本製品の出荷時状態から変更してお使いの場合は、QRsetupではご利用いただけません。

AOSSについて

AOSSに対応した機器と本製品のAOSSボタンを押すことで、本製品への無線接続を行う方法です。

接続したい機器側のAOSSボタンを押した後、本製品のAOSSボタンをPOWERランプが2回周期で点滅するまで (約1秒間) 押してください。1分程度して、POWERランプが緑色に点灯したら設定は完了です。

※ POWERランプが赤く点滅している場合は、設定に失敗しています。もう一度AOSSボタンを押して、接続を行ってください。

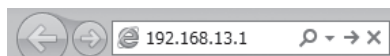
来客者用ネットワークの設定方法

本製品では、通常のネットワークから隔離された別の無線ネットワーク(ゲストポート)を設定することができます。このゲストポートを活用することで、本製品のネットワークセキュリティを保ちつつ、来客者に対してインターネット環境を提供することができます。本紙では例として、来客者がかんたんに本製品に接続できる設定事例をご紹介します。

メモ ゲストポートは、インターネットにのみ接続できるネットワークです。ゲストポート側から他のネットワークにアクセスしたり、本製品の設定を変更することはできません。

1 ブラウザーを起動します。

2 ブラウザーのアドレス欄に「192.168.13.1」を入力します。



3 ログイン画面が表示されたら、ユーザー名(名前)欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力します。



メモ ログイン画面が表示されない場合は、ブラウザーのアドレス欄に本製品のLAN側IPアドレスを入力してください。LAN側IPアドレスが分からない場合は、当社ホームページに掲載の「エアステーション設定ツール」をご利用ください。

4 「無線設定」をクリックします。



5 「ゲストポート」をクリックします。



6 ゲストポートの設定を行って、[設定]をクリックします。

ゲストポート設定

ゲストポート機能	☒ 使用する
ゲストユーザー認証機能	☐ 使用する
ゲストポート用LAN側IPアドレス	☒ 自動設定 ☐ 手動設定

無線設定

11n/g/b	☒ 使用する
SSID	☐ エアステーションのMACアドレスを設定 (Guest-XXXX) ☒ 値を入力 : Guest-G
無線の認証	認証を行わない
無線の暗号化	暗号化なし

[設定]

設定例:

ゲストポート機能:	使用する
ゲストユーザー認証機能:	使用しない
ゲストポートのLAN側IPアドレス:	自動設定
11n/g/b:	使用する
SSID:	任意の設定 (例: Guest-G など)
無線の認証:	認証を行わない
無線の暗号化:	暗号化なし

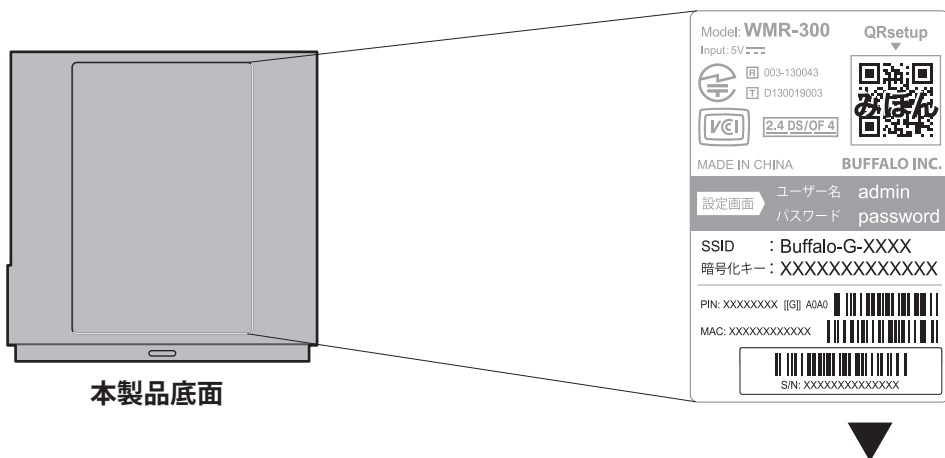
メモ ・本紙では来客者がかんたんに無線接続できるように、無線の暗号化設定をしない例を紹介していますが、無線の暗号化設定を行うこともできます。

(WPA-PSK/WPA2-PSK使用時の「Key更新間隔」については、[無線設定]－[基本 (11n/g/b)]の画面で設定した値がゲストポートにも使用されます)

- ・ゲストユーザー認証機能を「使用する」に設定する場合は、ゲストユーザーの登録を別途行う必要があります。詳細は、当社ホームページに掲載の「エアステーション設定ガイド」を参照してください。
- ・ゲストポート用LAN側IPアドレスを「手動設定」に設定する場合は、別途IPアドレスの指定が必要です。[推奨値を設定する]をクリックすると、ゲストポート用LAN側IPアドレスの推奨値が入力欄に表示されます。

大切なお知らせ

本製品底面には、無線でつなぐための情報が記載されたラベルが貼り付けられています。
本製品をご利用いただく前に、ラベルの情報を本紙に控えて、大切に保管してください。



本製品底面

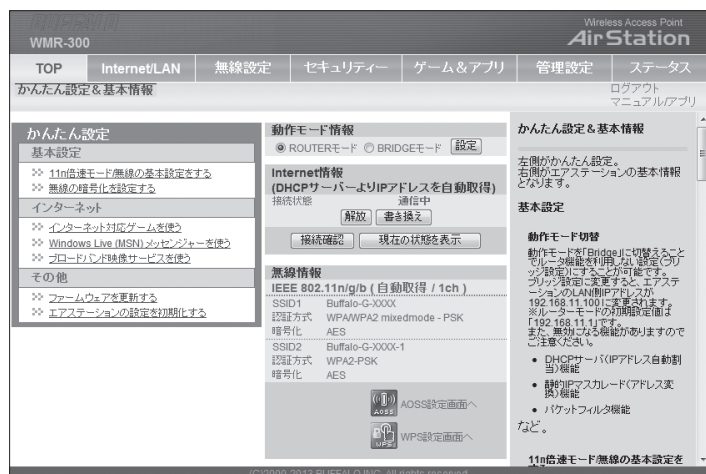
SSID

暗号化キー

※ 別紙「無線LAN接続ガイド」の手順で各機器を本製品につなぐために必要な情報です。

本製品の設定画面について

本製品の設定画面にアクセスすると、本製品の設定変更や状態の確認ができます。

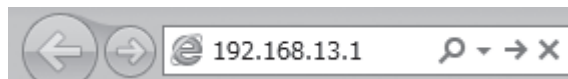


■ 設定画面でできること(一例)

- ・ 無線チャンネルの設定
- ・ SSIDや暗号化キーの変更
- ・ ゲストポート(来客用ネットワーク)の設定
- ・ 現在の本製品の状態確認 など

■ 設定画面へのアクセス方法

1. ブラウザーのアドレス欄に「192.168.13.1」を入力します。



2. ログイン画面が表示されたら、以下の情報を入力してください。

ユーザー名 : admin
パスワード : password

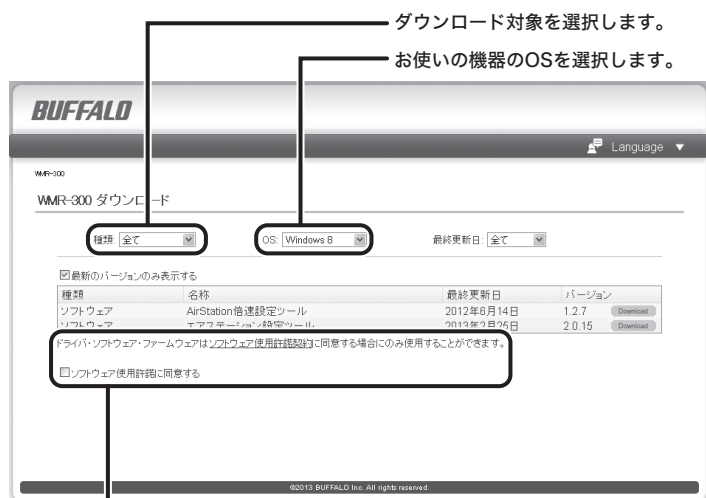
※ ログイン画面が表示されない場合は、本紙裏面を参照して、当社ホームページより、「エアステーション設定ツール」をダウンロードして実行してください。

3. 設定画面が表示されます。

各種ソフトや説明書の入手方法について

本製品に対応した各種ソフトや「エアステーション設定ガイド」(詳細説明)は、当社のホームページからダウンロードできます。

WMR-300 : <http://d.buffalo.jp/wmr-300/>



ソフトウェアやドライバのダウンロードは、「ソフトウェア使用許諾契約」に同意いただく必要があります。

AirStation倍速設定ツール(Windows専用)

本製品や無線子機の倍速モードの有効/無効をかんたんに切り替えることができるソフトウェアです。

エアステーション設定ツール(Windows用/Mac用)

本製品の設定画面(管理画面)を表示したり、本製品のIPアドレスをかんたんに変更できるソフトウェアです。

エアステーション設定ガイド(PDF形式)

本製品の設定画面の詳細や各種設定事例、各種ソフトウェアの使用方法をご案内しています。
本製品を有効に活用したい場合にご参照ください。

※ 本製品は、GPL/LGPLの適用ソフトウェアを使用しており、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。オープンソースとしての性質上著作権による保証はなされておきませんが、本製品については保証書記載の条件により当社による保証がなされています。GPL/LGPLのライセンスについては、当社ホームページをご覧ください。変更済みGPL対象モジュール、その配布方法については、当社のホームページ(<http://buffalo.jp/download/>)をご覧ください。サポートセンターにご連絡ください。配布時発生する費用は、お客様のご負担となります。

製品に関するお問い合わせについて

製品に関するお問い合わせについて

下記QRコードの読み取りには、QRコードリーダーアプリのインストールが必要な場合があります。

電話・メールでのお問い合わせ

パソコン・携帯電話のお客様は、下記アドレスをブラウザのアドレスバー(URL欄)に入力してください。

スマートフォン・携帯電話で下記QRコードを読み込むと、ワンタッチで電話やメールができますので大変便利にご利用いただけます。

ハローバッファロー

86886.jp/TEL

(<http://www> 不要)



バッファローサポートページでは、豊富なサポート情報でお客様の問題解決をお助けいたします。ぜひ、こちらをご覧ください。

パソコン・携帯電話のお客様は、下記アドレスをブラウザのアドレスバー(URL欄)に入力してください。

スマートフォン・携帯電話で下記QRコードを読み込むと、サポートページをご覧いただけます。

ハローバッファロー

86886.jp

(<http://www> 不要)



QRコードは株式会社デンソーウェーブの商標登録です。

※We provide technical and customer support only to Japanese OS.

We provide technical and customer support only in Japanese language.

We provide technical and customer support only for use in Japan.

当社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。

- ・お問合せに関する連絡・製品向上のためのアンケート(サポートセンター)
- ・添付品の販売業務(備品販売窓口)
- ・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上のための返送後の動作状況確認(修理センター)